NTT docomo

F-05G

ARROWS ケータイ

取扱説明書　’15.6

はじめに

「F-05G」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（本端末に搭載）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉待受画面でMENU→［ツール］→［取扱説明書］

「取扱説明書」（PDFファイル）

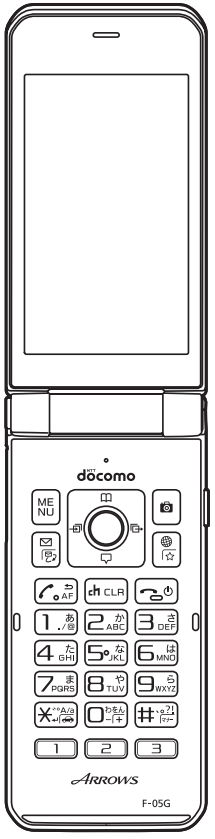
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

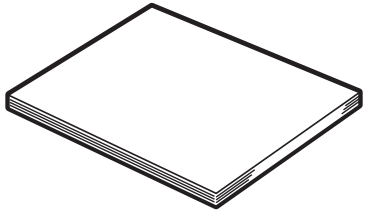
- 本書においては、「F-05G」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はカラーテーマが「レッド」の場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

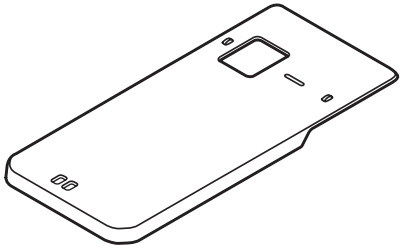
■F-05G本体（保証書付き）



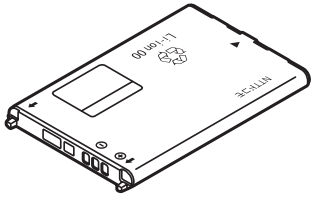
■クイックスタートガイド



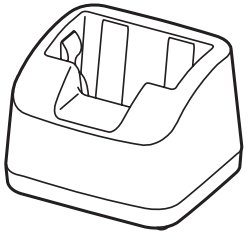
■リアカバー F86



■電池パック F32



■卓上ホルダ F49



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/

目　次

■本体付属品 1
■本端末のご利用について 4
■安全上のご注意（必ずお守りください）..... 6
■取り扱い上のご注意 18
■防水／防塵性能 23

ご使用前の確認と設定 30

各部の名称と機能 30
基本操作 33
ドコモnanoUIMカード 39
電池パック 40
充電 41
電源を入れる／切る 44
文字入力 45
初期設定 49
タスク管理 52

電話 53

電話をかける 53
電話を受ける 56
通話中の操作 57
リダイヤル／着信履歴 58
伝言メモ 59
発着信・通話設定 60
電話帳 62

メール／ウェブブラウザ 65

ドコモメール 65
SMS 67
ウェブブラウザ 69
Fサイト 75

カメラ 76

カメラをご利用になる前に 76
静止画撮影 78
動画撮影 80
QRコードリーダー 81

ツール／アプリ 83

ワンセグ 83
LINE 87
スケジュール 88
アラーム 89
メモ 90
電卓 91
お知らせタイマー 91
SDカードバックアップ 92

設定 94

設定メニュー 94
音・バイブ・LED 94
画面 96
電池 97
通信・機内モード 98

セキュリティ 100
言語・文字・入力 107
便利機能 108
ドコモサービス 108
端末管理 109

データ管理 114

本体（内部ストレージ） 114
microSDカード（外部ストレージ） 114
ファイル操作 116
パソコンとの接続 121

データ通信 123

赤外線通信 123
Bluetooth®通信 124

安心・安全サービス 128

災害用伝言板 128
災害用音声お届けサービス 128
緊急速報「エリアメール」 129

海外利用 131

国際ローミング（WORLD WING）の概要 131
海外で利用可能なサービス 131
海外でご利用になる前に 131
滞在先で電話をかける／受ける 134
国際ローミングの設定 135
帰国後の確認 137

付録／索引 138

メニュー一覧 138
トラブルシューティング（FAQ） 140
保証とアフターサービス 146
ソフトウェア更新 148
主な仕様 152
携帯電話機の比吸収率（SAR） 155
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones 156
輸出管理規制 161
知的財産権 162
SIMロック解除 164
索引 165

本端末のご利用について

- 本端末はW-CDMA方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音が鳴ります。

- お客様の電話番号（自局電話番号）は、待受画面でMENU→［プロフィール］でご確認いただけます。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P148
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 万が一本端末を紛失した場合は、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P104
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い（共通）..... 7
本端末の取り扱い..... 9
電池パックの取り扱い.....11
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い.....13
ドコモnanoUIMカードの取り扱い.....15
医用電気機器近くでの取り扱い.....15
材質一覧.....16

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能について→P23「防水／防塵性能」

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能について→P23「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く**
- **本端末の電源を切る**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながら動画、ワンセグの視聴などを長時間行うと本端末や電池パック、アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズにはプラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶など内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶など内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P16「材質一覧」

指示

本端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下などによる変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

⚠注意

指示

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部　背面ディスプレイ面	PA-GF樹脂	UVハードコート
	可動部ディスプレイ面		
	固定部　操作キー面	PC-GF樹脂	UVハードコート
	固定部　電池面		
	ヒンジ部可動側	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	ヒンジ部固定側	PC+ABS-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバー　本体	PC-GF樹脂	UVハードコート
	リアカバー　止水部	エラストマー樹脂	なし
ケースパッド		ウレタンアクリレート樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		アクリル樹脂+PC樹脂	UVハードコート

使用箇所		材　質	表面処理
背面パネル		アクリル樹脂	UVハードコート
カメラレンズ部、カメラパネル		アクリル樹脂+PC樹脂	UVハードコート
サイドキーストッパー		ABS樹脂	なし
サイドキー		PC樹脂	UVハードコート
操作キー		ウレタンアクリレート樹脂	UVハードコート
オープンアシストボタン		PC樹脂	UVハードコート
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂	なし
	止水部	シリコーンゴム	なし
	ツメ部	エラストマー樹脂	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ

使用箇所		材　質	表面処理
電池端子	電池端子コネクタ本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ（下地 Ni-Pdメッキ）
ネジ（電池収納面）		ステンレス鋼	なし
電池収納面	板金	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
	銘板シール	PET	なし
	水濡れ反応シール	上質紙	ラミネート（PET）
電池パック F32	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	銅	Niメッキ+金メッキ
	ラベル	PET	マットニス印刷
	水濡れ反応シール	上質紙	ラミネート（PET）
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	PPS樹脂	なし

■卓上ホルダ F49

使用箇所	材　質	表面処理
上下ケース	ABS樹脂	シボ加工
フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）	POM樹脂	なし
充電端子（接点部）	リン青銅	金メッキ
ゴム足	ウレタンフォーム	なし
ネジ	Pタイトナベネジ	三価クロメート
外部接続端子	ステンレス鋼	錫メッキ
ラベル（上ケース）	ポリエステルフィルム	なし
ラベル（下ケース）	アート紙	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-05Gは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を入れたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆アダプタ、卓上ホルダについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

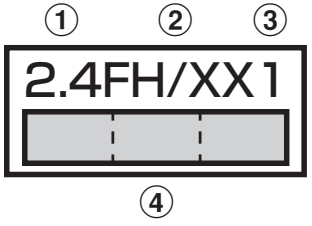
◆ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- **ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



①2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
②FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

④[　　]：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3.その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の銘板シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-05Gは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-05GにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-05Gを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖F-05Gが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やワンセグの視聴ができます。**
  - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - 外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P23）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P28）で水抜きしてください。

- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P28）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

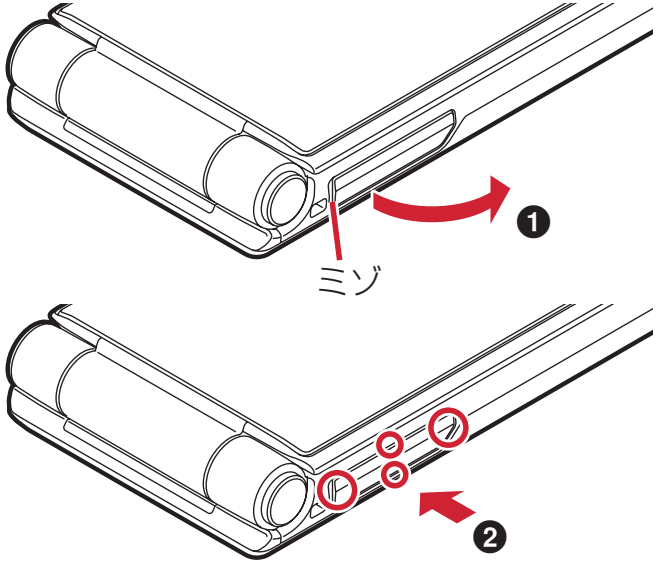
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子キャップとリアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、外部接続端子キャップなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

■外部接続端子キャップの開きかた／閉じかた

ミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印（❶）の方向に開きます。使用後は外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印（❷）の方向に押し込みます。

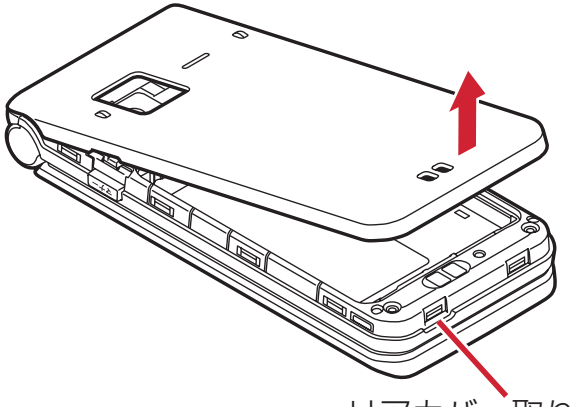
- ○部分をしっかりと押し、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。



■リアカバーの取り外しかた

1 リアカバー取り外し部の位置でリアカバー側に爪をかけ、リアカバーを垂直に持ち上げながら取り外す

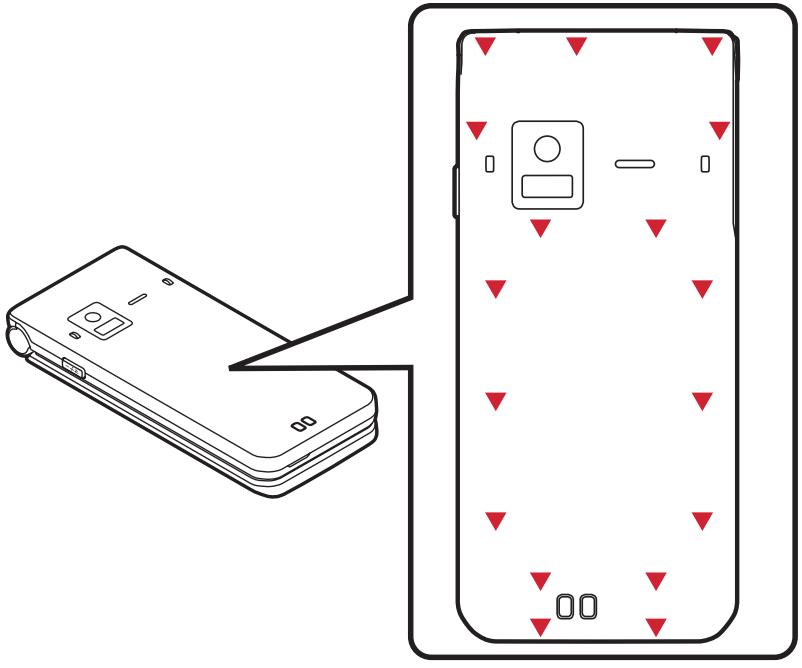
- リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。



■リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し、リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押す

- 浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。



防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 規定（→P23）以上の強い水流を直接当てないでください。F-05GはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を開いた状態で水中を移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にご連絡ください。

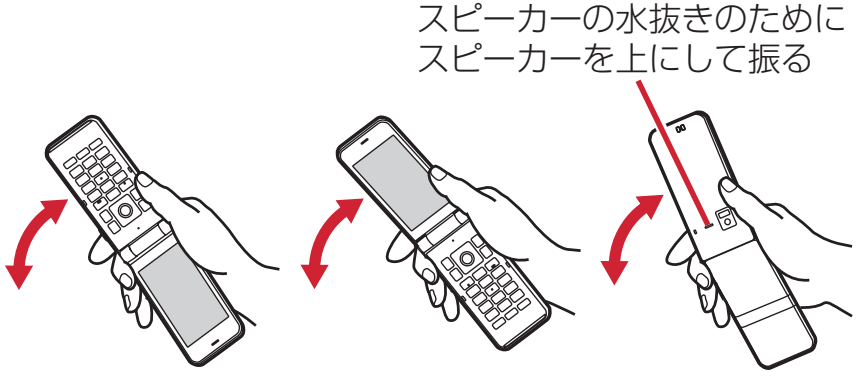
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

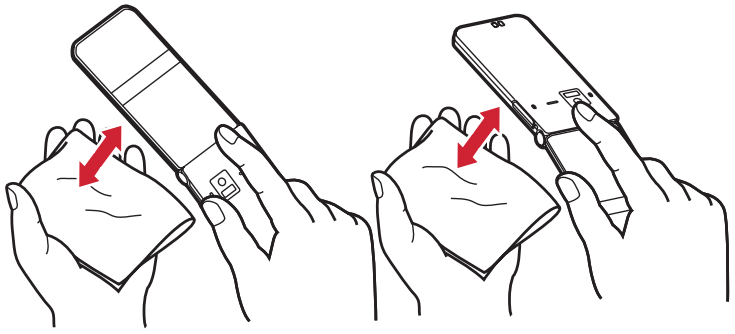
本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

①本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

②本端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



③送話口／マイク、受話口、スピーカー、ヒンジ部、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



④本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

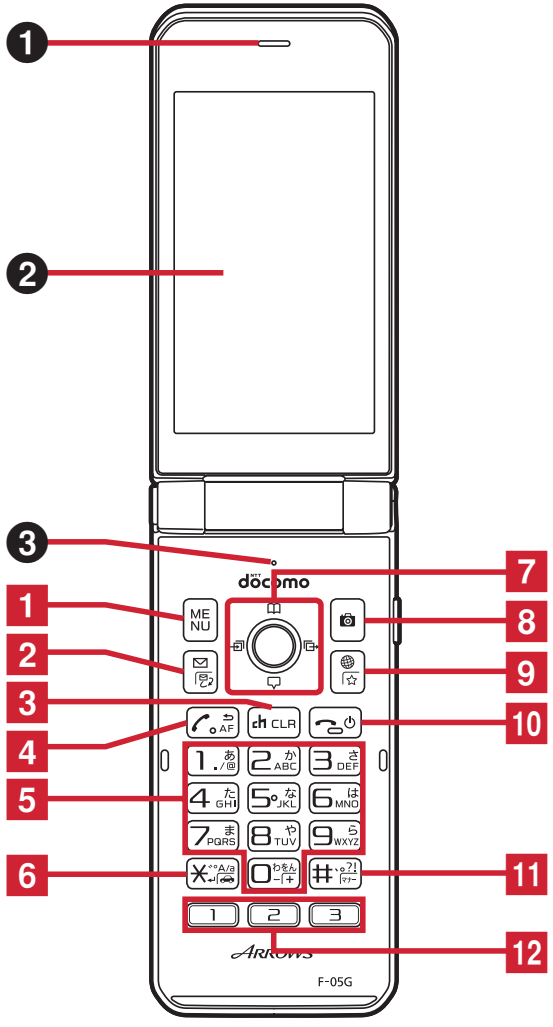
◆充電のときには

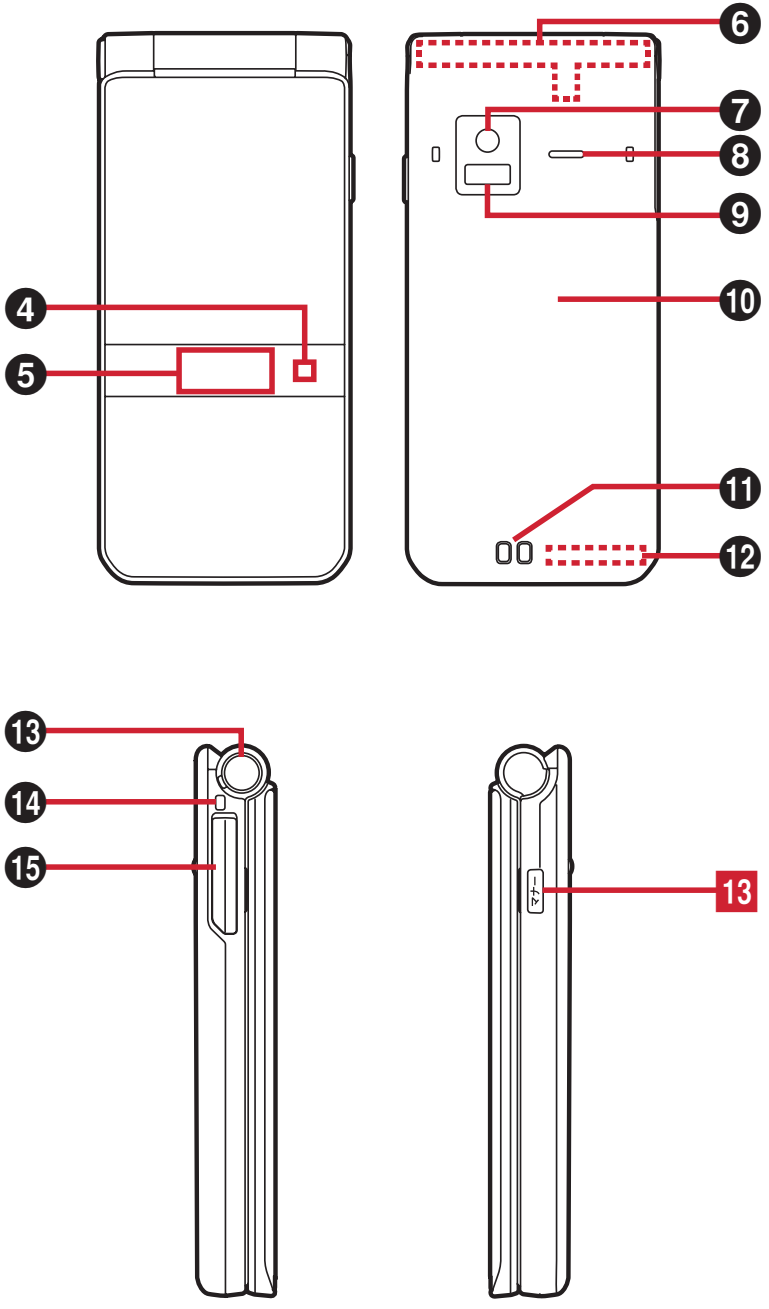
充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能





〈各部の機能〉

❶受話口
❷ディスプレイ
❸送話口／マイク
❹お知らせLED
❺背面ディスプレイ
❻FOMAアンテナ部※1
❼カメラ
❽スピーカー
❾赤外線ポート
❿リアカバー
⓫充電端子
⓬Bluetoothアンテナ部※1
⓭オープンアシストボタン
⓮ストラップホール※2
⓯外部接続端子※3
充電時やパソコンなどの接続時に使用します。

※1本体に内蔵されています。手で覆うと、品質に影響を及ぼす場合があります。
※2ストラップを取り付ける際は、リアカバーをいったん取り外したあと、ストラップを本端末のストラップホールに通し、内部のフックにかけてから、再びリアカバーを取り付けます。
※3水や粉塵の侵入を防ぐために、外部接続端子キャップをしっかりと閉じてください。

〈ワンセグアンテナについて〉

ワンセグアンテナは本体に内蔵されており、端末全体がアンテナの役割をしています。よりよい条件で受信するために、端末を持ってワンセグ視聴をする場合は、手で覆う部分が最小になるようにしてください。

〈キーの機能〉

各キーの主な機能は次のとおりです。

●：押す　■：1秒以上押す

1 MENUキー
●メニューの表示
●ガイド表示領域左上に表示される操作の実行

2 ✉メール／文字キー
●メールメニューの表示
●ガイド表示領域左下に表示される操作の実行
●文字入力モードの切り替え
■メール問い合わせ

3 CLRch／クリアキー
●ｉチャネル一覧の表示
●文字の消去、1つ前の画面に戻る

4 音声電話開始（開始キー）／↩／AFキー
●音声電話をかける／受ける
●文字入力中に1つ前の文字に戻す
●手動オートフォーカス
■文字列を1つ前の状態に戻す

5 ダイヤルキー

1～9

●電話番号（1～9）や文字の入力、メニュー・項目選択

0

●電話番号（0）や文字の入力、メニュー・項目選択

■国際電話をかけるときの「+」の入力

6 ＊／A/a／改行／公共モードキー

●「＊」や「゛」「゜」の入力、大文字／小文字切り替え

●文字入力時の改行、メニュー・項目選択

■公共モード（ドライブモード）の起動／解除

7 マルチカーソルキー※1

●決定キー

●操作の実行、フォーカスモードの実行

電話帳／↑キー

●電話帳の表示

●音量調節、上方向へのカーソル移動

SMS／↓キー

●SMS一覧の表示

●音量調節、下方向へのカーソル移動

着信履歴／←キー

●着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動

リダイヤル／→キー

●リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動

8 カメラキー

●静止画撮影の起動

●ガイド表示領域右上に表示される操作の実行

9 Webキー

●Webメニューの表示

●ガイド表示領域右下に表示される操作の実行

■Webのブックマークを表示

10 電源／終了キー

●応答保留、通話／操作中の機能の終了（待受画面に戻る）

■2秒以上押す：電源を入れる

■電源を切る、再起動の操作、公共モード（ドライブモード）、機内モード、マナーモードの設定

11 #／マナーモードキー

●「#」や「、」「。」「?」「!」「・」の入力、メニュー・項目選択

■マナーモードの起動／解除

12 お気に入り機能ボタン※2

1

●LINEを表示

■ワンセグ視聴画面を表示

2

●Webのブックマークを表示

■スクリーンショットを保存

3

●最大輝度モードで表示

13 マナー サイドキー※2

●アプリ通知一覧を表示

●端末を閉じているときは背面ディスプレイの点灯

■再開可能なアプリを表示

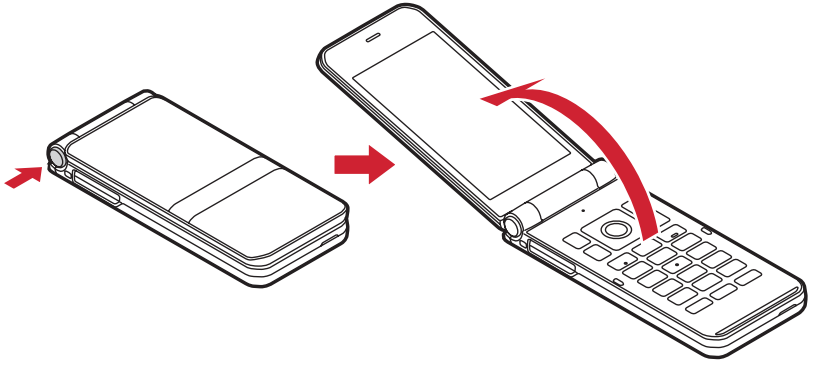
■端末を閉じているときはマナーモードの起動／解除

※1 操作の説明では、（上下）、（左右）、（4方向）、（斜め方向を含む8方向）と表記する場合があります。
※2 お買い上げ時の状態での動作です。

◆オープンアシストボタン

ボタン操作で簡単に本端末を開くことができます。

- オープンアシストボタンを使用しない場合でも、軽い力で簡単に開きます。



✔お知らせ

- 端末を手に持って操作してください。また、端末を開くときに自分の顔、人や物などに当てたり、開くときの反動で端末を落としたりしないようにご注意ください。
- 端末の向きによっては、ボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- 端末は手で閉じてください。完全に閉じないときは、端末を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

基本操作

ディスプレイに表示される情報の見かたや操作を説明します。

◆メニューの選択

待受画面で MENU を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。
  ：待受画面に戻ります。
  CLR ：1つ前のメニューに戻ります。

❖マルチカーソルキーで選択

を押して、目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し項目選択する方法です。

- カーソルを移動するとカーソル位置の色が変わります。

• 本書の操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記の例	意　味
待受画面で MENU → ［ツール］→［電卓］	待受画面で MENU を押した後、✥で「ツール」にカーソルを移動し●を押す。続けて「電卓」にカーソルを移動し●を押す。

※ 本書では✥で項目にカーソルを移動し●を押す操作を省略しています。

❖ダイヤルキーで選択（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（ショートカット番号）が割り当てられている場合に、対応するダイヤルキー（0～9）や＊、#を押してメニュー項目を選択する方法です。

• 目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。項目番号がないメニューは、マルチカーソルキーで選択してください。
• メニューのショートカット→P138

〈例〉電卓アプリを選択する

1 待受画面で MENU → 9 1

◆ポインタの使いかた

LINEやWebサイト画面ではポインタ（↖）による操作ができます。

〈例〉Webサイトでリンクを選択する

1 ✥でポインタをリンクに移動→●［選択］

• ポインタ操作の詳細→P70

◆待受画面の見かた

待受画面に表示されるアイコンで、新着情報や現在の状態（ステータス）などを確認できます。

①ステータスバー
通知アイコンとステータスアイコンで現在の状態を確認します。

②時刻・日付

③新着情報アイコン
不在着信や伝言メモなどの新着情報があると表示されます。

④ **ｉチャネルテロップ／ガイド表示領域**
ｉチャネルをご契約いただいている場合、ｉチャネルのテロップが表示されます。また、メニュー表示時やフォーカスモード（→P37）時にはガイドが表示されます。

❖ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。

■主な通知アイコン

: 新着メール
: 新着SMS
: 新着エリアメール
: 着信中
／: データのアップロード完了／ダウンロード完了
: VPN接続
: ソフトウェア更新
: スクリーンショットで画像を保存
: アラーム設定中
: ミュージック再生中
: バックグラウンドでワンセグ受信中
: 位置提供設定ON
: おまかせロック設定中
: 本端末のメモリの空き容量低下
: エラー／警告メッセージあり
: 表示しきれない通知あり

■主なステータスアイコン

: 電波状態
: 圏外
: 国際ローミング中
: 3G使用可能
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

: 機内モード設定中
: 公共モード（ドライブモード）設定中
: Bluetooth機能ON
: Bluetooth機器接続中
: 伝言メモ設定中
: スピーカーフォンON
: 着信音量0
: 最大輝度モードで表示中
: バイブレーションON
: マナーモード（通常マナー）
: マナーモード（サイレントマナー）
: マナーモード（アラームONマナー）
: 電池残量0～4%（要充電）
: 電池残量5～15%（ほとんどない）
: 電池残量16～30%（少ない）
: 電池残量31～79%
- 31～79%にかけて、残量表示（白色の範囲）が変化します。

: 電池残量80～100%（十分）
: 充電中

✔お知らせ

- 文字入力中は、現在入力中の入力モードを示すアイコンがステータスアイコンとして表示されます。

❖アプリ通知一覧

アプリ通知一覧を開いてお知らせを確認したり、対応する機能を起動したりします。

1 マナー

①アプリ通知
お知らせを選択すると、対応する機能を起動し確認できます。

②表示切替
お知らせの表示を切り替えます。

③実行中
通知アイコンで表示される、実行中のアプリ一覧に切り替えます。

④通知消去
お知らせをすべて消去します。

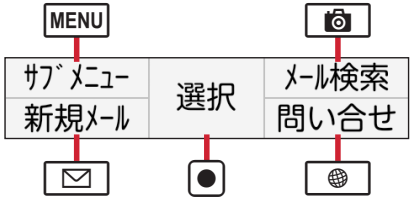
✔お知らせ

- 通知内に［共有］などのボタンがある場合は、を押すと選択できます。

❖ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、MENU、、、、を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。

- 表示位置とキーは、次の図のように対応しています。



❖新着情報アイコンの利用

待受画面の新着情報アイコンを選択すると、対応する情報をすばやく表示できます。

- 新着情報アイコンを選択するにはフォーカスモードにする必要があります。
- アイコン右上の数字は件数を示します。
- 新着情報の内容を確認するとアイコンは消去されます。

1 待受画面で●

フォーカスモードになります。

- フォーカスモードを解除するにはCLRまたは⌐を押します。

2 新着情報アイコンを選択

■新着情報アイコン

ⓘ: アプリ通知のお知らせ
: 伝言メモ
: 不在着信
: 未読メール
: 留守番電話サービスの伝言メッセージ

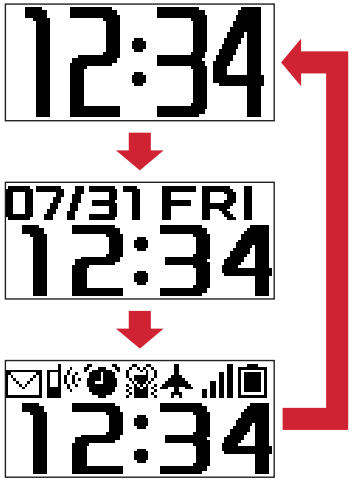
✔お知らせ

- フォーカスモード中は、MENUを押してもメニュー一覧を表示できません。

◆背面ディスプレイ

端末を閉じた状態の背面ディスプレイでは、時計や日付、通知アイコンを確認したり、着信中やアラームなどのメッセージが表示されたりします。

- 背面ディスプレイを表示するには、端末を閉じた状態でマナーを押します。一定時間何も操作しないでいると消灯します。
- マナーを押すたびに、次のように表示が切り替わります。



■主なアイコン

✉：未読メール
：不在着信
：アラーム設定中
：マナーモード（通常マナー）
：マナーモード（サイレントマナー）
：マナーモード（アラームONマナー）
：機内モード
：電波状態
：電池残量

✔お知らせ

- 絵文字が登録された連絡先（名前）やメッセージが表示された場合、絵文字によっては見えにくくなることがあります。

◆お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯
充電中：赤色点灯
充電異常：赤色点滅
着信中、通話中、不在着信：「LEDの詳細設定」で設定→P95

✔お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。

◆スクリーンショット（画面保存）

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 お気に入り機能ボタンの［2］（1秒以上）

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに■が表示されます。

- アプリ通知一覧を開く→スクリーンショットの通知を選択するか、待受画面で［MENU］→［アルバム］→［ダウンロード画像］を選択すると、画像を確認できます。

◆プロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 待受画面で［MENU］→［プロフィール］

プロフィール画面が表示されます。

2 ［MENU］［サブメニュー］→［プロフィール編集］→各項目を設定→［📷］［登録］

- プロフィール編集中に［MENU］［サブメニュー］→［メールアドレス自動取得］を選択すると、ドコモメールのメールアドレスを自動で取得して入力することができます。

✔お知らせ

- プロフィール画面でMENU［サブメニュー］を押すと、赤外線送信や連絡先データ送信（共有）などの操作ができます。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの機能を利用することができません。
- ドコモnanoUIMカードについて詳しくは、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから本端末を閉じ、リアカバーと電池パックを取り外した状態で手に持って行ってください。→P24、P40
- ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■取り付けかた

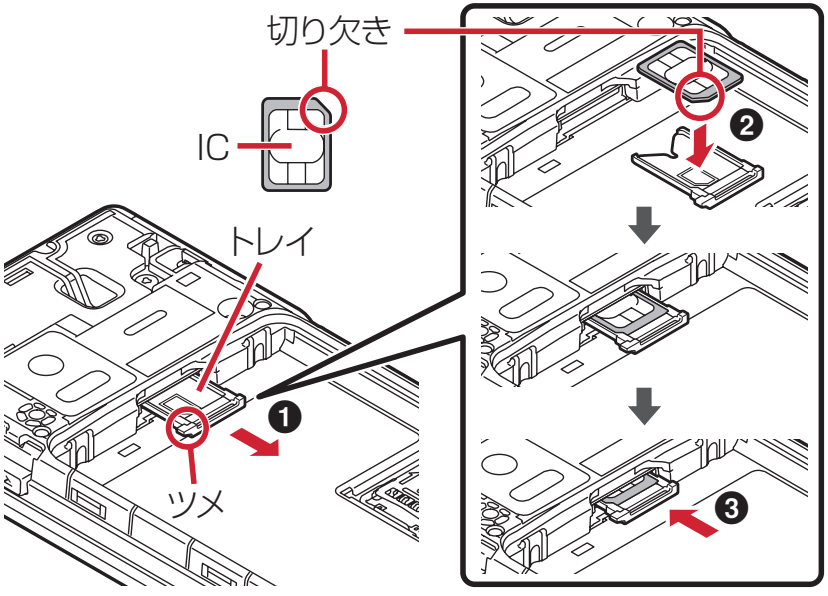
①トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す（❶）

- トレイはドコモnanoUIMカードスロットから外れる構造になっています。

②ドコモnanoUIMカードのIC面を上にしてトレイに乗せる（❷）

- 切り欠きの方向にご注意ください。

③トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む（❸）



■取り外しかた

①トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出してドコモnanoUIMカードを取り外す
②トレイをドコモnanoUIMカードスロットへまっすぐ水平に差し込む

✔お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをドコモnanoUIMカードスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P107

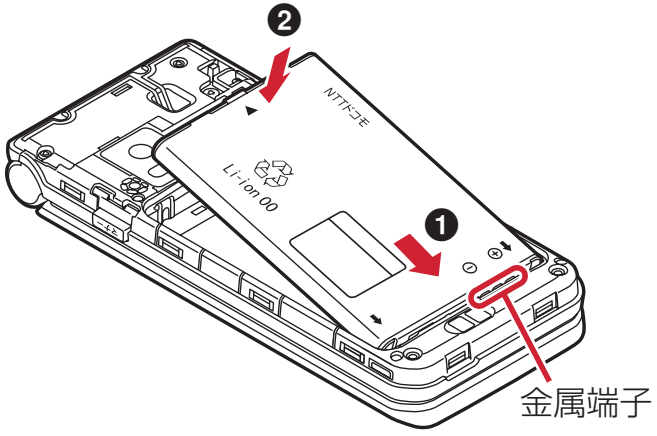
電池パック

◆電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから本端末を閉じ、リアカバーを取り外した状態で手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外しはずしてください。
- リアカバーの取り付け／取り外しについては「防水／防塵性能を維持するために」をご覧ください。→P24
- 本端末専用の電池パック F32をご利用ください。

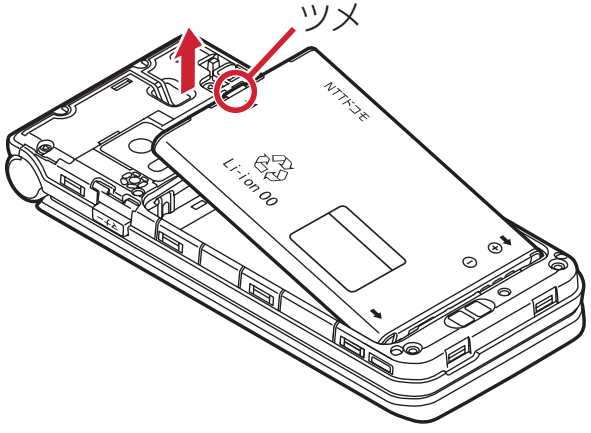
■取り付けかた

①電池パックの「NTTドコモ」印字面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける



■取り外しかた

①電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す



充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P152

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
ACアダプタ 05／F06（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
DCアダプタ 04（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆卓上ホルダを使って充電

卓上ホルダ F49（付属品）とACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

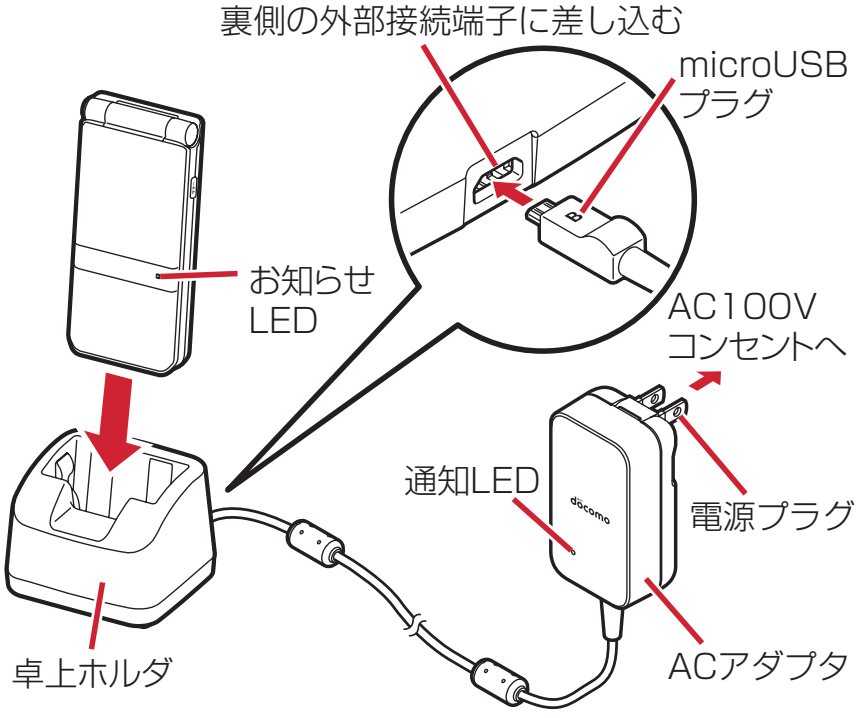
①ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子に水平に差し込む

②本端末を卓上ホルダに差し込む
- 端末の向きをよくご確認の上、正しく差し込んでください。無理に差し込むと破損の原因となります。

③ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す

⑤卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く



✔お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 卓上ホルダ裏側の外部接続端子は充電専用です。指定のACアダプタ以外は接続しないでください。
- 落としたり、重いものをのせたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。

◆ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 05（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

①ミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを開ける→P25

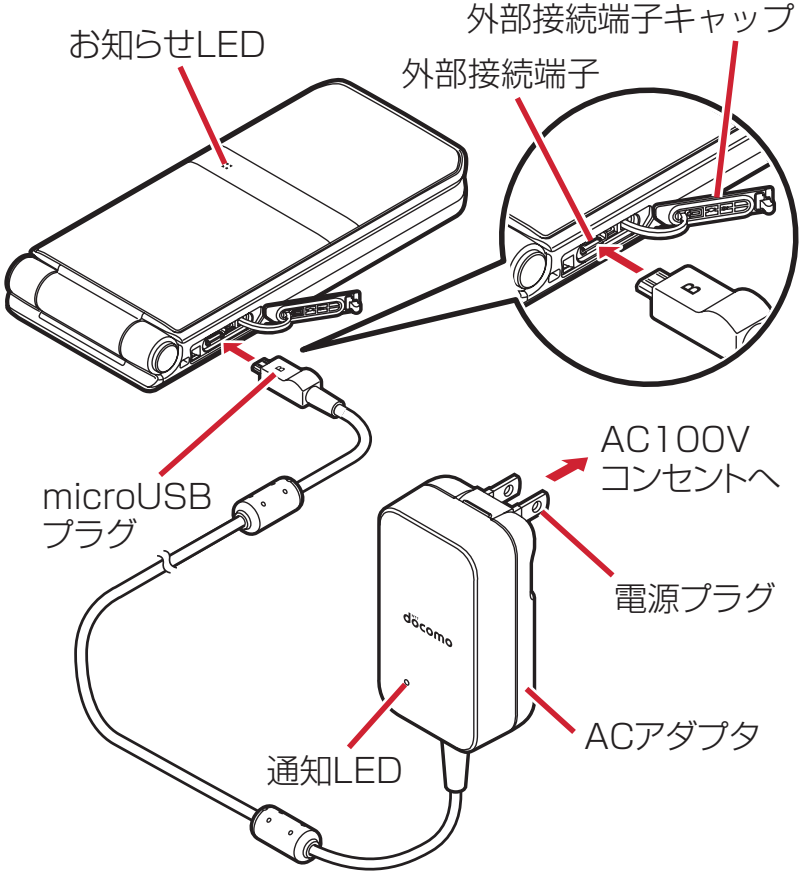
②ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む

③ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
- 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 正常に充電できる場合は、ACアダプタの通知LEDが緑色に点灯します。

④充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

⑤本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜き、本端末の外部接続端子キャップをしっかりと閉じる

- 防水／防塵性能を維持するために、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください。→P24



◆パソコンを使って充電

PC接続用USBケーブル T01（別売品）やmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、［キャンセル］を選択してください。

電源を入れる／切る

◆電源を入れる

1 [ ](2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P49

◆電源を切る

1 [ ](1秒以上)

2 ［電源を切る］→［OK］

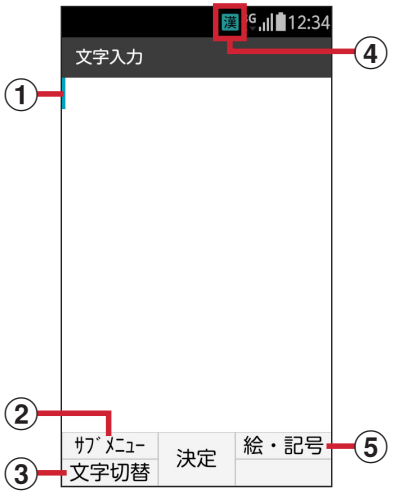
本端末が振動して電源が切れます。

✓お知らせ

- [ ]を3秒以上押しても電源を切ることができます。

文字入力

文字を入力する方法を説明します。



文字入力画面

①カーソル（点滅）
文字が入力または挿入される位置を示します。

②サブメニュー
テキスト編集や定型文の挿入、文字入力設定などができます。

③文字切替
入力モードを切り替えます。ひらがな／漢字、カタカナ、英字、数字の入力モードに切り替えられます。

④入力モード

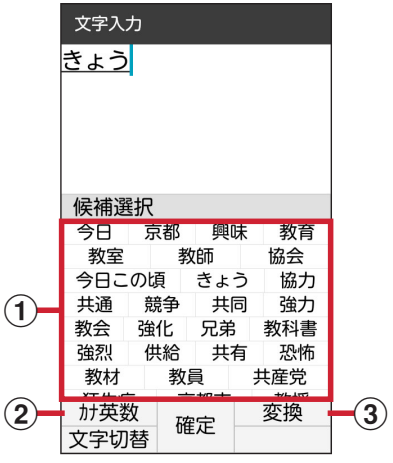
⑤絵文字・記号
絵文字、記号、顔文字、デコメ絵文字®（絵文字D）一覧を表示します。
- アプリや入力項目によっては入力できない場合もあります。

◆文字入力と変換

〈例〉「今日」と入力する

1 「きょう」と入力

- 入力中は次の操作ができます。
  [↩]：同じキーに割り当てられた文字を1つ前に戻す
  [CLR]：文字の削除
  [✱]：濁点や半濁点の付加、大文字／小文字の切り替え



①候補選択リスト
②カナ英数
カタカナ、英字、数字、日付、時刻などが一覧で表示されます。
③変換
入力した文字を変換します。続けて押すと変換候補一覧を表示します。

2 [◎]

3 候補選択リストから[今日]を選択→[【閉じる】]

- 候補選択リストのページを切り替えるには、[✉]［↑］または[🌐]［↓］を押します。

学習辞書データの単語削除：[MENU]［学習削除］→［はい］

- ガイド表示領域に［学習削除］と表示された場合のみ、単語を削除することができます。

✔お知らせ

- 文字入力後や削除後に[✎]を1秒以上押すか、[MENU]［サブメニュー］→［元に戻す］を押すと、1つ前の状態に戻せます。
- 改行するには[✕]を押します。カーソルが文字入力の末尾にある場合は、[◎]を押しても改行できます。
- メール作成画面の本文欄では、[MENU]［サブメニュー］を押すと、デコメ絵文字®の入力や装飾、署名などの挿入ができます。→P66

❖定型文／データ引用による入力

お買い上げ時に登録されている定型文や、自分で登録した定型文を呼び出して入力します。
電話帳から連絡先データを引用して入力することもできます。

1 文字入力画面で[MENU][サブメニュー]→[定型文・データ引用]

2 目的の操作を行う

定型文を入力：[定型文]→定型文を選択

- 定型文一覧で[✎]を押すとカテゴリリストを表示します。登録した定型文は［ユーザ作成］に登録されます。

データ引用：[電話帳]→連絡先を選択→引用するデータにチェック→［OK］

❖絵文字／記号／顔文字の入力

文字入力画面に表示された絵文字、記号、顔文字、デコメ絵文字®（絵文字D）の一覧から選択して入力します。

1 文字入力画面で[📷][絵・記号]

2 [MENU]／[📷]を押して、絵文字／記号／顔文字／絵文字Dの一覧を表示

3 絵文字／記号を選択

- 各一覧で[✎]を押すとカテゴリリストを表示します。

◆文字入力の設定

文字入力の入力時の動作を設定したり、単語登録などを行います。

1 **待受画面で MENU →[設定]→[言語・文字・入力]→[文字入力設定]**

2 **各項目を設定**

日本語・英語入力予測：候補選択リストを表示するかを設定します。
自動カーソル：カーソルが右側に自動移動する速度を設定します。
単語登録：登録した読みを入力して、変換できるように単語を登録します。→P47
定型文登録：定型文を作成して登録します。→P47
変換学習リセット：学習辞書をリセットします。
バージョン情報：入力ソフトウェアのバージョンを確認します。

❖単語登録

よく使う単語を好きな読みで登録し、登録した読みを入力して変換できるようにしたり、候補選択リストに表示したりします。
- 最大250件登録できます。

1 **待受画面で MENU →[設定]→[言語・文字・入力]→[文字入力設定]→[単語登録]**

2 **[<新規作成>]**

単語の編集：単語を選択
単語の削除：単語にカーソル→ MENU [サブメニュー] → [削除] ／ [全削除] → [はい]

3 **単語、読みを入力→ 📷 [登録]**

❖定型文登録

よく使う言葉や文章を定型文として登録します。
- 作成した定型文はカテゴリー覧の「ユーザ作成」に登録されます。
- 最大50件登録できます。

1 **待受画面で MENU →[設定]→[言語・文字・入力]→[文字入力設定]→[定型文登録]**

2 [<新規作成>]

定型文の編集：定型文を選択
定型文の削除：定型文にカーソル→MENU［サブメニュー］→［削除］／［全削除］→［はい］

3 定型文を入力→［登録］

◆テキスト編集

文字入力画面、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力画面でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストの切り取り／コピー

- Webサイトでのコピーについて→P72

■文字入力画面での切り取り／コピー

1 MENU［サブメニュー］→［コピー・切取り・貼付け］

2 ［コピー］／［切取り］

3 開始位置を選択

全文選択：［全選択］

4 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取られます。

文頭／文末までの選択：［文頭］／［文末］→［終点］

❖テキストの貼り付け

1 貼り付ける位置にカーソル→MENU［サブメニュー］→［コピー・切取り・貼付け］→［貼付け］

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード（HID／SPP）を接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。
- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P125

❖外付けキーボードの設定

1 **待受画面で MENU →［設定］→［言語・文字・入力］**

- 外付けキーボードが接続されていると、物理キーボード欄が表示されます。

2 **物理キーボードで任意のキーボードを選択→［キーボード配列の設定］→任意のキーボードレイアウトにチェック→ CLR →任意のキーボードレイアウトを選択**

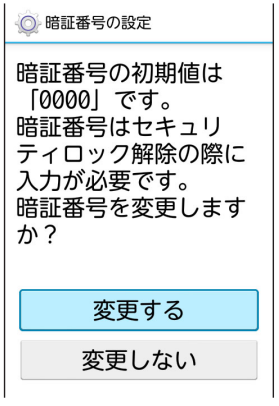
初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

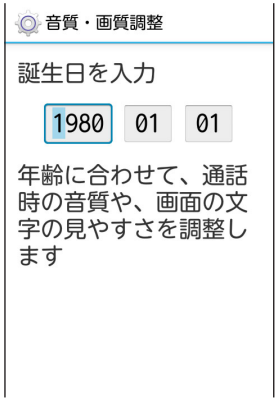
1 **「WELCOME!」画面が表示されたら、◉［次へ］**

2 **暗証番号の設定画面で［変更する］／［変更しない］**

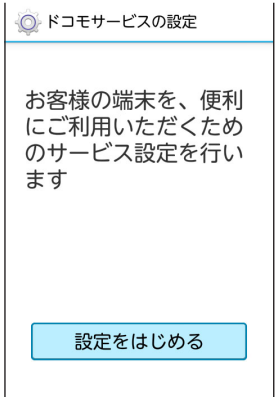
- 変更する場合は、4～8桁の数字を入力してください。



3 音質・画質調整画面で誕生日を設定→ [完了]



4 ドコモサービスの設定画面で[設定をはじめる]



5 各サービスを設定する

ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。
ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
遠隔初期化※：パソコンから本端末を初期化するかを設定します。
※ドコモアプリパスワードを設定すると表示されます。

6 [OK]

待受画面が表示されます。

✔お知らせ

- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は［OK］を選択します。
- ソフトウェア更新の確認画面が表示された場合は［OK］を選択します。
- ドコモサービスの設定は、待受画面でMENU→［設定］→［ドコモサービス］を選択しても設定できます。

❖かんたんお引越し

microSDカードに保存した携帯電話（富士通／東芝製のFOMA端末）のデータを本端末に移行します。

- 電話帳データ、リダイヤル／着信履歴、スケジュール帳、ブックマーク、アラーム、受信／送信／未送信メールのデータを移行できます。

1 待受画面で MENU →［設定］→［便利機能］→［かんたんお引越し］

各データの移行先の案内を確認した後、［OK］を選択します。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 次回起動時に移行先の案内画面を表示しない場合は、［OK］を選択する前に［以降表示しない］にチェックを付けてください。

✔お知らせ

- 通話履歴は移行元のリダイヤル／着信履歴で上書きされるため、データ移行前に本端末に保存されていた通話履歴は削除されます。
- 移行した受信／送信／未送信メールを表示するには、待受画面で ✉ → MENU ［サブメニュー］→［メール取り込み］を選択して、取り込み先を選択してください。
- 富士通／東芝製のFOMA端末であっても、ご使用の機種によってはかんたんお引越しに対応していないため、データを移行できないことがあります。
- microSDカードの移行元のデータは、移行時に上書きされる場合があります。
- microSDカードに保存した携帯電話のSMSやエリアメールのデータは、エラーメッセージが表示され、移行できません。ただし、ｉモードメールのデータは移行できます。
- データ移行中に他のアプリケーションを起動しないでください。
- データ移行中に他のアプリケーションが起動された場合、移行処理が中断されることがあります。再度、かんたんお引越しアプリを起動し、📷［復元開始］を押して移行処理を実行してください。

タスク管理

[ ]を押してアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 [マナー]（1秒以上）

再開可能なアプリが表示されます。

- サムネイルを選択するとアプリを表示できます。
- サムネイルにカーソル→[MENU]［終了］を押すとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには[✉]［全終了］を押します。

電話

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

- 電話番号を訂正する場合は[CLR]を押します。

2 [ ]

発信者番号通知：[MENU]［サブメニュー］→［発信オプション］→［番号通知］→［通知する］／［通知しない］→[MENU]［発信］／[ ]

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

プレフィックス選択：[MENU]［サブメニュー］→［発信オプション］→［プレフィックス］→プレフィックスを選択→[MENU]［発信］／[ ]

- あらかじめ、「プレフィックス設定」（→P61）で登録した番号（プレフィックス）を選択して、電話番号の先頭に付加します。

3 通話が終了したら[ ]

✔お知らせ

- 「発信者番号通知」（→P60）で通知／非通知を一括設定できます。

◆プッシュ信号の入力

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信できます。

■2秒間の停止「,」を追加

メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力→[#]（1秒以上）→追加番号を入力→[ ]

外線番号に続いて、2秒間の停止（「,」）1つにつき約2秒間の間隔をとって追加番号をダイヤルします。

- 2秒間の停止（「,」）は連続して入力できます。

■待機「;」を追加

メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し、追加番号の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力→[*]（1秒以上）→追加番号を入力→[ ]

2 電話がつながったら［はい］

待機（「;」）以降の番号が送出されます。

✔お知らせ

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。

◆短縮ダイヤルで電話をかける

短縮ダイヤルに連絡先を登録することで、簡単な操作で電話をかけることができます。

- あらかじめ短縮ダイヤルに連絡先を登録しておいてください。→P54

1 **待受画面で [0]～[9]→[✓]**

- 発信確認画面が表示された場合は［はい］を選択してください。

❖連絡先を短縮ダイヤルに登録する

1 **待受画面で [MENU]→[電話機能]→[短縮ダイヤル設定]**

2 **短縮ダイヤルを選択→[電話帳から選ぶ]→連絡先を選択**

✔お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録している連絡先を電話帳アプリで編集しても、短縮ダイヤルに登録されている電話番号は更新されません。電話番号を更新したい場合は、再度短縮ダイヤルを登録し直してください。

◆緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。
- 着信拒否設定が有効な状態で緊急通報を行うと、着信拒否設定は無効に変更されます。

◆国際電話（WORLD CALL）

「＋」を入力して国際電話をかけます。[0]を1秒以上押すと「＋」が入力されます。

- 海外でのご利用については、「国際ローミング（WORLD WING）の概要」をご覧ください。→P131
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 待受画面で[0]（1秒以上）→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力→[発信]

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をONに設定している場合、発信時に「国際ダイヤルアシスト」画面が表示されます。［元の番号で発信］または［変換後の番号で発信］を選択します。
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力→[MENU]［サブメニュー］→［発信オプション］→［国際電話発信］→［ON］→［国番号］→国を選択→[MENU]［発信］／[発信]を押します。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

- 着信音、バイブレータの動作を止めるには、[マナー]を押します。

2 [ ]

3 **通話が終了したら**[ ]

◆応答保留

着信時にすぐに電話に出られないときは応答保留にします。

- 応答保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 **着信中に**[ ]

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。

2 **電話に出られる状態になったら**[ ]

- 応答保留中に[ ]を押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

◆着信拒否

電話を受けずに切断することができます。

1 **着信中に**[MENU]**[サブメニュー]→[着信拒否]**

◆伝言メモで応答

電話に出られないときなど、相手の用件を録音することができます。

1 **着信中に**[MENU]**[サブメニュー]→[伝言メモ]**

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

①名前や電話番号

②サブメニュー

MENU を押すと、プロフィール／着信履歴／リダイヤル／スケジュール／メモの表示やBluetooth通話切替、はっきりボイス／ゆっくりボイスの設定、通話中クローズ設定が操作できます。

③電話帳

✉ を押すと、電話帳を表示できます。

④はっきりボイス／ゆっくりボイスの状態表示

はっきりボイス動作中は周囲の環境を認識して最適な音質に調整します。認識している環境に応じて「静か」、「騒がしい」などが表示されます。

⑤通話時間

⑥スピーカーフォンON／OFF

📷 を押すと、スピーカーフォンがON／OFFになります。

⑦ミュートON／OFF

🌐 を押すと、ミュートがON／OFFになります。

⑧保留

● を押すと、保留／保留解除します。

✔お知らせ

- スピーカーフォンで通話するには次の内容にご注意ください。
  - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
  - スピーカーフォンで通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

◆通話音量調節

通話中に受話音量を変更して、聞き取りやすくします。

1 通話中に

◆はっきりボイスのON／OFF

相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。

1 通話中にMENU[サブメニュー]→[はっきりボイスON]／[はっきりボイスOFF]

◆ゆっくりボイスのON／OFF

相手の話す声がゆっくり聞こえるように調整し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。

1 通話中にMENU[サブメニュー]→[ゆっくりボイスON]／[ゆっくりボイスOFF]

リダイヤル／着信履歴

電話のリダイヤル／着信履歴を確認できます。

- リダイヤル／着信履歴の最大表示件数は各50件です。

1 待受画面で

履歴画面が表示されます。

- を押すと着信履歴画面、を押すとリダイヤル画面が表示されます。

①発着信日時
②名前や電話番号
③着信／不在着信の表示
④伝言メモの表示

2 履歴にカーソル→

リダイヤル画面／着信履歴画面の切り替え：
[リダイヤル]／[着信履歴]

✔お知らせ

- 履歴画面で履歴を選択すると履歴詳細画面が表示されます。
  履歴詳細画面では[MENU]［サブメニュー］を押してメール作成や発信オプションなどの操作を行ったり、[📷]［SMS作成］を押してSMSを作成したりできます。

◆リダイヤル／着信履歴の削除

1 履歴画面で履歴にカーソル→[MENU][サブメニュー]→[履歴削除]

2 各項目を操作

1件削除：［1件削除］→［はい］
選択削除：［選択削除］→削除する履歴にチェック→[📷]［削除］→［はい］
全件削除：［全件削除］→［はい］

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

1 待受画面で[MENU]→[電話機能]→[伝言メモ]

2 各項目を設定

伝言メモ：伝言メモのON／OFFを設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしていても伝言メモで応答しません。

伝言メモ再生：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択すると伝言が再生されます。

- 伝言メモを1件削除する場合は、伝言メモにカーソル→[🌐]［削除］→［はい］を選択します。
  全件削除する場合は[MENU]［サブメニュー］→［全件削除］→［はい］を選択します。エラー画面が表示された場合は［OK］を選択してください。
- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

伝言メモ設定：着信呼出の時間や応答メッセージを設定します。

発着信・通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

◆ネットワークサービス

次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

1 **待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[ネットワークサービス]**

2 **各項目を設定**

留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。
転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。
キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
発信者番号通知：通知設定、設定確認を行います。
迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認、詳細設定を行います。
番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
通話中着信設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。
遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。
公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

◆海外設定

詳細については「国際ローミングの設定」（→P135）をご覧ください。

1 **待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[海外設定]**

2 **各項目を設定**

◆着信設定

1 **待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[着信設定]**

2 **各項目を設定**

着信拒否設定：着信拒否に関する設定を行います。
着信拒否設定：着信拒否設定をON／OFFに設定します。
登録外着信拒否：電話帳に未登録の着信を拒否するかを設定します。
非通知着信拒否：非通知の着信を拒否するかを設定します。

公衆電話着信拒否：公衆電話からの着信を拒否するかを設定します。
通知不可能着信拒否：電話番号を通知できない電話からの着信を拒否するかを設定します。
ブラックリスト：ブラックリスト設定に登録した番号からの着信を拒否するかを設定します。
ブラックリスト設定：着信を拒否したい電話番号を最大100件まで登録することができます。
呼出動作開始時間設定：電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないように、呼び出し開始時間などを設定します。
エニーキーアンサー設定：着信中に[ ]以外のキー（[0]～[9]、[●]、[＊]、[#]）を押しても応答できます。
着信中オープン応答：着信時に本端末を開いて応答できます。

◆発信設定

1 **待受画面で[MENU]→[電話機能]→[発着信・通話設定]→[発信設定]**

2 **各項目を設定**

サブアドレス設定：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切りとするかを設定します。
プレフィックス設定：電話発信時に電話番号の先頭に付加する番号を設定します。

◆その他設定

1 **待受画面で[MENU]→[電話機能]→[発着信・通話設定]→[その他設定]**

2 **各項目を設定**

通話時間：通話時間に関する設定を行います。
積算通話時間表示：積算通話時間を表示します。
積算時間リセット：積算通話時間をリセットします。
自動リセット設定：積算通話時間を毎月1日に自動でリセットするかを設定します。
通話中クローズ設定：通話中に本端末を閉じたときの動作を設定します。
あわせるボイス：通話音声を自動で聞き取りやすく調整します。
ドコモへのお問合せ：ドコモの各お問合せ窓口に発信します。
ドコモ故障問合せ：ドコモ故障問合せへ発信します。
ドコモ総合案内・受付：ドコモ総合案内・受付へ発信します。
海外紛失・盗難等：海外紛失・盗難等へ発信します。
海外故障：海外故障へ発信します。
オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳を初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。

◆電話帳の登録

1 待受画面で[ひ]→[📷][新規登録]→各項目を設定→[📷][登録]

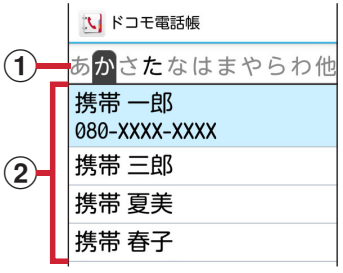
✔お知らせ

- 電話のリダイヤル／着信履歴から電話帳を登録することもできます。
- 待受画面で電話番号を入力→[●]［登録］を押しても、電話帳を登録できます。

◆電話帳の確認／利用

1 待受画面で[ひ]

電話帳リストが表示されます。



①インデックス
五十音順で検索ができます。
②連絡先

2 名前を選択

3 情報を確認

❖電話をかける

1 電話帳リストで連絡先を選択

2 電話番号にカーソル→[●][発信]／[✆]

❖SMSの作成・送信

1 電話帳リストで連絡先を選択

2 電話番号にカーソル→[📷][SMS]→SMSを作成・送信

❖ドコモメールの作成・送信

1 電話帳リストで連絡先を選択

2 メールアドレスを選択→ドコモメールを作成・送信

◆電話帳の削除

1 電話帳リストで削除する連絡先にカーソル→[MENU][サブメニュー]→[連絡先削除]

2 各項目を操作

1件削除：[1件削除]→[はい]
選択削除：[選択削除]→削除する電話帳にチェック→[📷][確定]→[はい]
全件削除：[全件削除]→[はい]

◆電話帳の編集

1 電話帳リストで連絡先を選択→[MENU][サブメニュー]→[連絡先編集]→各項目を編集→[📷][登録]

◆グループの利用

1 待受画面で[MENU]→[電話機能]→[電話帳]→[グループ一覧]

2 [MENU][サブメニュー]→[グループ追加]→グループ名を入力→[OK]

グループ名変更：グループにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[グループ名変更]→グループ名を入力→[OK]
グループの削除：グループにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[グループ削除]→[OK]
グループの並べ替え：グループにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[表示位置を上に移動]／[表示位置を下に移動]
グループのメンバを変更：グループにカーソル→[MENU][サブメニュー]→[グループメンバ変更]→連絡先にチェック／チェックを外す→[📷][確定]

◆電話帳のバックアップ／復元

1 電話帳リストで MENU [サブメニュー]→[SD／SIMカード／共有]

2 項目を選択

SDカードへバックアップ／復元：SDカードバックアップを起動して、連絡先をmicroSDカードにバックアップ／復元できます。→P92

SIMカードから復元：ドコモnanoUIMカードから連絡先を復元します。

全件データ送信（共有）：連絡先をドコモメールやBluetooth通信で送信します。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。
送受信したメールがドコモメールサーバーに保存されるため、端末紛失や機種変更時にも簡単にメールが移行できます。さらにdocomo IDを利用すれば、パソコンやタブレットなどでメールが利用できます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾誓約書」などに同意する必要があります。画面の指示に従って操作してください。

◆ドコモメールの作成・送信

1 待受画面で［✉］

2 ［✉］［新規メール］

メール作成画面が表示されます。

3 宛先入力欄を選択

4 宛先の追加方法を選択→宛先を入力→［📷］［確定］

- さらに宛先を追加する場合は［✉］［追加］を押します。
- 宛先を削除する場合は宛先にカーソル→［🌐］［削除］を押して、画面の指示に従って操作してください。

5 件名入力欄を選択→件名を入力

6 本文欄を選択→本文を入力

7 ［📷］［送信］

下書き保存：［✉］［下書保存］

❖添付ファイル

ドコモメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で［🌐］［添付］

2 添付ファイルを選択

写真・画像：撮影した静止画やダウンロードした画像などを添付できます。
動画：動画を添付できます。
電話帳：電話帳に登録されている連絡先を添付できます。
カメラ起動：カメラを起動し、撮影した静止画を添付できます。

その他のファイル：本体やmicroSDカード内のさまざまなファイルを添付できます。
- さらに添付ファイルを追加する場合は[✉]［追加］を押します。
- 添付ファイルを削除する場合は添付ファイルにカーソル→[🌐]［削除］を押して、画面の指示に従って操作してください。

3 [📷][確定]

❖本文を装飾（デコメール®）

メール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画の挿入などの装飾をして送信できます。

1 メール作成画面で本文欄を選択

2 [🌐][装飾]→装飾方法を選択→装飾を操作

入力済みの文字の装飾：装飾を開始する位置にカーソル→[MENU]［サブメニュー］→［コピー・切取り・その他］→［範囲選択］→範囲の終点位置を選択→［装飾］→装飾方法を選択→装飾を操作

❖ドコモメール作成画面のサブメニュー操作

1 メール作成画面で[MENU][サブメニュー]

2 各項目を選択

閲覧に切り替え：ドコモメールのメニューに切り替えます。
プレビュー：作成中のドコモメールをプレビュー表示します。
下書き保存：作成中のドコモメールを送信せずに「未送信BOX」に保存します。
テンプレート：装飾されたデコメール®のテンプレート（ひな形）を使用してデコメール®を作成したり、作成中のドコモメールをテンプレート保存します。
保存せずに終了：作成中のドコモメールを保存せずに、ドコモメールを終了します。

◆クイックメールでメールを作成

クイックメールに連絡先を登録することで、簡単な操作でメールを作成・送信することができます。
- あらかじめクイックメールに連絡先を登録しておいてください。→P67

1 待受画面で[0]～[9]→[✉][メール]→メールを作成・送信
- 送信確認画面が表示された場合は［はい］を選択してください。

❖連絡先をクイックメールに登録する

1 待受画面で MENU →[メール]→[クイックメール設定]

2 クイックメールを選択→[電話帳から選ぶ]→連絡先を選択

✔お知らせ

- クイックメールに登録している連絡先を電話帳アプリで編集しても、クイックメールに登録されているメールアドレスは更新されません。メールアドレスを更新したい場合は、再度クイックメールを登録し直してください。

◆ドコモメールの受信

ドコモメールは自動的に受信します。

1 ドコモメールを自動的に受信

ステータスバーに通知アイコン（→P35）が表示されます。

2 待受画面で ● →ドコモメールの通知を選択→フォルダを選択→未読のドコモメールを選択

- 待受画面で ✉ →［受信BOX］→フォルダを選択→未読のドコモメールを選択しても確認できます。

✔お知らせ

- ドコモメールを自動的に受信しないように設定するには、待受画面で ✉ →［メール設定］→［通信設定］→［自動通信設定］→［毎回確認する］／［OFF］を選択します。

❖メール問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきたドコモメールをセンターに問い合わせて受信できます。

1 待受画面で ✉（1秒以上）

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

◆SMSを作成して送信

1 待受画面で ◎

2 ✉ [新規作成]→宛先の入力方法を選択→宛先を入力

3 本文欄を選択→メッセージを入力→[📷][送信]

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P35）が表示されます。アプリ通知一覧を開く→通知を選択して、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。

◆SMSの表示

1 待受画面で[🔍]

2 メッセージスレッドを選択

- [MENU]［サブメニュー］→［電話発信］→[📞]を押して電話をかけることができます。

◆SMSに返信

1 待受画面で[🔍]

2 メッセージスレッドを選択→[📷][返信]→本文欄を選択→メッセージを入力→[📷][送信]

◆SMSの削除

1 待受画面で[🔍]

2 メッセージスレッドを選択→SMSにカーソル→[🌐][削除]→[はい]

✔お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドにカーソル→[MENU]［サブメニュー］→［削除］→メッセージスレッドにチェック→[📷]［削除］→［はい］を選択します。

◆SMSの設定

1 待受画面で[Q]→[MENU][サブメニュー]→[設定]

2 各項目を設定

着信音：SMS受信時の着信音を設定します。
受信時の振動：SMS受信時に本端末を振動させるかを設定します。
着信ランプ：SMS受信時にお知らせLEDを点灯するかを設定します。
通知時間：SMS受信時の通知時間を設定します。
受取確認通知：送信するSMSの受取確認を毎回要求するかを設定します。
メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。

ウェブブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信による接続でブラウザを利用できます。

◆dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトやお客様サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

1 待受画面で[🌐]→[dメニュー・検索]

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[利用する]を選択してください。

✔お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（3G）によるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続には、別途パケット通信料がかかります。
- dメニューで紹介しているサイトには、一部有料のコンテンツが含まれる場合があります。

◆ブラウザ起動

ブラウザ設定の「ホームページを設定」に設定しているWebサイトを表示します。

1 待受画面で [🌐]→[ブラウザ起動]

Webサイト画面が表示されます。

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[利用する] を選択してください。

◆Google検索

検索サイトのGoogle™を表示します。Googleを利用してWebサイトを検索できます。

1 待受画面で [🌐]→[Google検索]

Webサイト画面が表示されます。

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[利用する] を選択してください。

◆URL入力／Web検索

URLやキーワードを入力して、Webサイトを表示／検索できます。

1 Webサイト画面で [MENU] [サブメニュー]→[URL入力／Web検索]

2 URL／キーワードを入力

◆Webサイト表示中のキー操作

Webサイト画面では次のキー操作ができます。

ポインタの移動（マウスモード）：[✥]

カーソルの移動（ケータイモード）：[✥]

- マウスモード／ケータイモードについて→P70

項目を選択／リンク先へ移動：[●] [選択]

- マウスモード中は、項目やリンクを操作できる場合はポインタが☝に切り替わります。

画面のスクロール：[✉] [↑] ／[🌐] [↓]

表示の拡大／縮小：[3] ／[1]

音量調節：[7] ／[9]

サブメニューの利用：[MENU] [サブメニュー]

前のページに戻る：[CLR]

- 最初のページの場合は、[CLR]→ [はい] を選択するとブラウザが終了します。
- ページの読み込み中に[CLR]を押すと読み込みを停止します。

サイト閲覧履歴の表示：[CLR] （1秒以上）

◆マウスモード／ケータイモードの操作

マウスモード：マウスのカーソルと同じように[✥]で次のポインタを8方向に動かして操作します。

- ↖：通常のポインタです。
- ☝：リンクや画像などの項目を選択できるときに表示されます。
- ✋：ドラッグ操作中に画面をドラッグしてスクロールするときなどに表示されます。
- ✊：ドラッグ操作中にスクロールの始点を選択するときや、ドロップしたときに表示されます。

ケータイモード：携帯電話のキー操作と同じように[✥]でカーソル枠を移動して操作します。

✔お知らせ

- 文字のコピー時（→P72）や画像のダウンロード時（→P72）でもポインタで操作します。

❖マウスモード／ケータイモードの切り替え

1 Webサイト画面で[📷][マウスモード]／[📷][ケータイモード]

マウスモードでは↖が表示されます。また、ケータイモードでは橙色のカーソル枠が表示されます。

✔お知らせ

- Bluetoothマウスを接続して操作するときは、ケータイモードに切り替えてください。マウスモード中にBluetoothマウスを接続するとポインタが2つ表示され、正しく操作できない場合があります。

❖ドラッグ操作

マウスモードではドラッグ操作で、表示されていない画面の外をスクロールして表示したり、項目をドラッグ＆ドロップしたりできます。

〈例〉画面をスクロールする

1 Webサイト画面で[●]（1秒以上）

ポインタが☝に切り替わります。

- ドラッグ操作を解除するには再度[●]を1秒以上押します。

2 [✳]で☝を移動してスクロール操作→[●]

ポインタが✋に切り替わります。

3 [✳]で✋をスクロールする始点に移動→[●]

4 [✳]で☝を移動してスクロール操作→[●]

✔お知らせ

- カーソル枠が表示されないなど、ケータイモードでは操作ができないWebサイトの場合はマウスモードに切り替えて操作してください。
- マウスモードでポインタを移動しても画面をスクロールできないときは、ドラッグ操作でスクロールできる場合があります。
- Webサイトによっては、マウスモードでもケータイモードでも操作ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［新規タブ作成］

新しいタブが開き、ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 既に2件以上のタブを開いている場合は、Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［タブ一覧］→MENU［サブメニュー］→［新規タブ作成］を選択します。

■タブを閉じる

1 Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［タブ一覧］

2 タブにカーソル→［閉じる］

- MENU［サブメニュー］→［他のタブを閉じる］を選択すると、カーソルがあたっていないタブを一度にすべて閉じることができます。
- ブラウザを終了すると、すべてのタブが閉じます。

◆ページ内の文字の検索

1 Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［ページ検索］

2 検索欄に文字を入力→

◆文字のコピー

1 Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［テキストコピー］

2 でポインタを選択する範囲の始点の文字に移動→［選択］

3 終点を選択

- を押して範囲を変更できます。
- テキスト範囲の両端のつまみを切り替えるには［始点／終点］を押します。

◆便利な機能

画像をダウンロードしたり、リンクを新しいタブで表示したりできます。

■画像をダウンロードする

1 Webサイト画面でMENU［サブメニュー］→［画像保存モード］

画像保存モードに切り替わります。

2 ✳でポインタを画像に移動→●[選択]

画像がダウンロードされます。

- 画像を選択できる場合はポインタが☝に切り替わります。
- [表示・再生] を選択するとダウンロードした画像を表示できます。
- [ダウンロード履歴] を選択するとダウンロード履歴一覧画面を表示できます。

■リンクを操作する

1 Webサイト画面でリンクにカーソル／✳でポインタをリンクに移動→MENU[サブメニュー]→[選択中のリンク]

- マウスモード中は、リンクを操作できる場合はポインタが☝に切り替わります。

2 各項目を操作

リンクを新しいタブで表示：[新しいタブで開く]

リンク先のWebページを保存：[リンク先を保存]

保存したWebページは、オフラインで閲覧することができます。→P75

URLをコピー：[URLをコピー]

◆ブックマーク

❖ブックマークの登録

1 Webサイト画面でMENU[サブメニュー]→[ブックマークへ登録]

ブックマークの新規登録画面が表示され、タイトル、登録先（フォルダ）などを変更できます。

2 📷[保存]

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト画面でMENU[サブメニュー]→[ブックマーク一覧]

ブックマーク画面（リスト表示）が表示されます。

2 ブックマークを選択

編集：MENU［サブメニュー］→［編集・移動］→各項目を設定→📷［保存］

削除：ブックマークにカーソル→MENU［サブメニュー］→［削除］／［全件削除］→［はい］

✔お知らせ

- ブックマーク画面（リスト表示）でMENU［サブメニュー］を押すと、ブックマークを新しいタブで開いたり、フォルダ管理などの操作ができます。
- 待受画面で🌐を1秒以上押すか、MENU→［Web］→［ブックマーク］を選択すると、ブックマーク画面（タイル表示）が表示されます。お買い上げ時はお気に入り機能ボタンの2を押しても表示できます。
  ブックマーク画面（タイル表示）で📷［詳細］を押すとブックマーク画面（リスト表示）を表示できます。

◆サイト閲覧履歴

1 ブックマーク画面（リスト表示）で📷［履歴］

サイト閲覧履歴画面が表示されます。

- 再度📷［ブックマーク］を押すとブックマーク画面（リスト表示）に戻ります。

2 履歴を選択

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］を選択します。

✔お知らせ

- サイト閲覧履歴画面でMENU［サブメニュー］を押すと、履歴を新しいタブで開いたり、履歴の削除などの操作ができます。

◆ブラウザ設定

1 待受画面で🌐→［ブラウザ設定］

2 各項目を設定

ホームページを設定：「ブラウザ起動」を操作したときや新しいタブを表示したときに表示されるWebページのURLを登録します。
画像の読み込み：Webページに画像を表示するか設定します。
ファイル保存先：ファイルの保存先を設定します。
プライバシーとセキュリティ：利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
ユーザー補助：テキストの倍率や最小フォントサイズなど画面表示について設定します。
高度な設定：サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。

◆ダウンロード履歴の表示

ダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 **Webサイト画面で MENU [サブメニュー]→[ダウンロード一覧]**

2 **履歴を選択**

Fサイト

富士通公式サイトのゲームコーナーや@Fケータイ応援団などを利用できます。

1 **待受画面で MENU →[Fサイト]→[ゲームコーナー]／[ケータイ応援団]**

富士通公式サイトに接続します。

- 接続確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[利用する] を選択してください。
- ゲームコーナーや@Fケータイ応援団のご利用には別途パケット通信料がかかりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末では、マナーモード、音量の設定に関わらず、オートフォーカスロック音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音が鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了します。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、本端末の動きを検出して自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆撮影スタイル

本端末を開いて撮影を行います。

◆カメラの撮影画像サイズ

次の撮影画像サイズを設定できます。

■静止画

- 8メガ最高画素 3264×2448（4：3）
- フルHD 1920×1080（16：9）
- 画面ぴったり 854×480（16：9）
- ケータイメール 640×480（4：3）

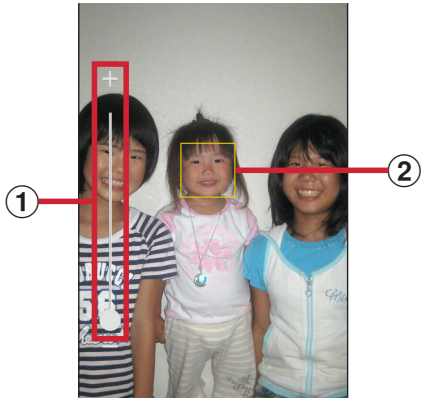
■動画

- HD 1280×720（16：9）
- ケータイメール 640×480（4：3）
- QVGA 320×240（4：3）

✔お知らせ

- 1件のドコモメールで送受信できるファイルサイズは、本文や添付ファイルなどを含めて最大10MBまでです。そのため、より長時間の動画を添付したい場合は撮影画像サイズを「QVGA 320×240」に設定することをおすすめします。

◆撮影画面の見かた



撮影画面

①**ズーム**
ズームしたときにズームイン／ズームアウトの状態を表示します。

②**顔検出枠**
- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。

✔お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、［切り替え］／［いいえ］を選択します。

静止画撮影

1 待受画面で［📷］
静止画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→［●］［撮影］
シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■静止画撮影画面の主な操作

オートフォーカスの手動起動：［✓］
- ピントが合うとピント位置が固定され、フォーカス枠が緑色に変わりオートフォーカスロック音が鳴ります。

ズーム：［◎］

撮影した静止画の表示：［📷］［アルバム］
- 撮影前に押した場合は、静止画の一覧が表示されます。

◆静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

■オートフォーカス

被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカス枠が緑色に変わります。
- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。

- 手動でオートフォーカスを起動してピントを合わせることもできます。→P78

■ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- 撮影画面にQRコードを表示させた場合は、QRコードを読み取って結果を表示します。

■自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。

■ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆静止画の撮影設定

静止画撮影画面で MENU を押すと、次の操作ができます。

■カメラモード切り替え

カメラ／ビデオ／QRコードからカメラモードを選択します。

■サイズ選択

撮影画像サイズを選択します。

- 撮影画像サイズを［8メガ最高画素 3264×2448］に設定していた場合、電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動すると、［フルHD 1920×1080］へ自動的に変更されます。

■保存先選択

静止画データの保存先（本体／microSDカード）を選択します。

■セルフタイマー

シャッター操作をしてから2秒後、5秒後、10秒後に撮影されるように設定できます。

動画撮影

1 待受画面で MENU →[カメラ]→[動画撮影]

動画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→ ● [録画]

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

3 ● [停止]

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ（2GB）になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止します。

■動画撮影画面の主な操作

オートフォーカスの手動起動※：

- ピントが合うとピント位置が固定され、フォーカス枠が緑色に変わりオートフォーカスロック音が鳴ります。

ズーム※：

撮影した動画の再生： [アルバム]

- 撮影前に押した場合は、動画の一覧が表示されます。

※録画中も操作できます。

◆動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

- 録画音声は常にONの状態です。

■オートフォーカス

録画開始時に画面中央にピント合わせを行います。ピントが合うと、フォーカス枠が緑色に変わります。

- 手動で撮影前や撮影中にオートフォーカスを起動してピントを合わせることもできます。→P80

■ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆動画の撮影設定

動画撮影画面で MENU を押すと、次の操作ができます。

■カメラモード切り替え

カメラ／ビデオ／QRコードからカメラモードを選択します。

■サイズ選択

撮影画像サイズを選択します。

■保存先選択

録画データの保存先（本体／microSDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、録画中は録画を停止します）。

QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

◆QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- 被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。手動でオートフォーカスを起動してピントを合わせることもできます。→P81
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 待受画面で 📷

2 MENU [設定]→[モード]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

オートフォーカスの手動起動：◉ [AF]

4 読み取りデータを確認

データの保存：読み取り結果画面で MENU ［サブメニュー］→［履歴を保存］→履歴欄を選択

履歴の表示：QRコード撮影画面で MENU ［サブメニュー］→［履歴］→履歴を選択

◆QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話をかける：電話番号を選択→ ✓

電話番号を電話帳に登録：電話番号を選択→ ● ［登録］→電話帳を登録

電話帳に一括登録：［電話帳一括登録］→電話帳を登録

メールの作成：メールアドレスを選択→メールを作成

Webサイトに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録：MENU ［サブメニュー］→［ブックマークに登録］

ツール／アプリ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

- 「ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページでご確認ください。
  一般社団法人　デジタル放送推進協会：http://www.dpa.or.jp/

◆ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。

◆ワンセグの視聴

1 待受画面で MENU →［ワンセグ］

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P86
  「ご利用にあたって」画面が表示された場合は［OK］を選択します。

ワンセグの終了： ⌐ →［はい］

- 本端末を閉じても、ワンセグを終了できます。

✔お知らせ

- 起動時、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は11%です（充電中は電池残量に関わらず、起動や動作の継続ができます）。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 受信状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショット（画面保存）は実行できません。

❖ワンセグ視聴画面について

ワンセグ視聴画面

①ワンセグ視聴エリア
②字幕エリア
③チャンネル番号／放送局名
④電波レベルアイコン
⑤マルチサービスアイコン
同じチャンネル内に別の番組（サービス）が放送されている場合に表示されます。◎による選局で切り替えできます。
⑥データ放送エリア
⑦番組名

■ワンセグ視聴画面の基本操作

音量調節： 📷［音量up］／ 🌐［音量down］
前後のチャンネルの選択： ◎
受信可能な前後の周波数のサーチ： ◎（1秒以上）
ワンタッチ選局： 0 ～ 9 、 ＊ 、 ＃

サブメニューの利用：MENU ［サブメニュー］
- サブメニューの詳細→P85

縦画面／横画面に切り替え：✉ ［縦／横］
データ放送サイト全画面表示：✓
- 元の表示に戻るには再度✓を押してください。
- 全画面表示中にMENU ［トップへ戻る］を押すとトップページを表示します。

データ放送サイトで前のページに戻る：CLR
データ放送サイトのカーソルの移動：◎
データ放送サイトの項目の選択：● ［選択］

■ワンセグ視聴画面のサブメニューの利用

ワンセグ視聴画面でMENU ［サブメニュー］を押すと、次の操作ができます。
チャンネル一覧：チャンネル一覧を表示します。
番組：放送中の番組詳細情報や、視聴中のチャンネルの番組情報を表示できます。
エリア切替：チャンネルリスト（エリア）を切り替えたり、追加したりできます。
字幕／音声設定：字幕や音声について設定します。→P85
テレビリンク：テレビリンクを管理します。→P86
設定：ワンセグを設定します。→P85

✔お知らせ

- 横画面表示中は一部の操作ができない場合があります。また、前後のチャンネルの選択や受信可能な前後の周波数のサーチなどのマルチカーソルキーの操作は、◎と◎の操作が入れ替わります。
- データ放送サイトの入力欄を選択している場合などは、ワンタッチ選局ができないことがあります。

◆ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面でMENU ［サブメニュー］→［設定］

2 各項目を設定

データ放送設定：データ放送の詳細を設定します。
オフタイマー：ワンセグを自動的にOFFにするまでの時間（OFF／10分／30分／60分／90分／120分）を設定します。
ご利用にあたって：ご利用にあたっての情報を表示します。
ソフトウェアライセンス：ソフトウェアライセンスを表示します。

❖字幕／音声の設定

1 ワンセグ視聴画面でMENU ［サブメニュー］→［字幕／音声設定］

2 各項目を設定

字幕表示：字幕の表示を、［ON］／［OFF］から選択します。
字幕表示位置※1：字幕の表示位置を、［上］／［下］から選択します。
字幕言語※2：［日本語］／［英語］から、字幕をどの言語で表示するかを設定します。
音声種別※2：［主］／［副］／［主／副］から、どの音声で聞くかを設定します。
音声言語※2：［言語1］／［言語2］から、音声をどの言語で聞くかを設定します。
※1横画面表示中のみ設定できます。
※2対応している番組のみ設定できます。

◆テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖テレビリンクの表示

1 ワンセグ視聴画面でMENU［サブメニュー］→［テレビリンク］→テレビリンクを選択→［はい］

登録されたサイトに接続します。

❖テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面でMENU［サブメニュー］→［テレビリンク］

2 各項目を操作

1件削除：テレビリンクにカーソル→MENU［サブメニュー］→［削除］→［はい］
全件削除：MENU［サブメニュー］→［全件削除］→［はい］

◆チャンネル設定

❖チャンネルリストの作成

- ワンセグの初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。操作3から操作してください。

1 ワンセグ視聴画面でMENU［サブメニュー］→［エリア切替］

2 エリアにカーソル→MENU［サブメニュー］→［エリア情報設定］

3 **地方を選択→都道府県を選択→地域を選択**

チャンネルがスキャンされます。スキャンが完了するとチャンネルリストが表示されます。

4 **◉[決定]**

- チャンネルのスキャンをやり直す場合は MENU［再設定］→［はい］を選択してください。

❖チャンネルリストの切り替え

1 **ワンセグ視聴画面で MENU [サブメニュー]→[エリア切替]**

2 **エリアを選択**

LINE

LINEは、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEは主にポインタで操作します。
- あらかじめLINEアカウントの登録を行ってください。
- LINEの利用方法などの詳細については、LINEのWebサイト（http://line.me/）や、LINEのトップページで［その他］→［設定］→［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

1 **待受画面で MENU →[ツール]→[LINE]**

LINEのトップページが表示されます。
初回起動時にはログイン画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

✔お知らせ

- コインやスタンプなどには、一部有料で販売している商品もあります。
- ゲームなど一部の機能は本端末では利用できません。

- LINEの利用を一度開始すると、LINEアプリの更新の確認が定期的に行われるようになります。更新が通知された場合に、通知画面で「次回以降更新のお知らせを受け取らない」にチェックを付けると、その後は確認が行われなくなりますので、定期的に手動で更新の有無を確認するようにしてください。
  - 手動での確認方法：待受画面でMENU→［ツール］→［LINE］にカーソル→［アップデート］→［確認する］
- を1秒以上押すと、ポインタをドラッグ操作に切り替えられます。プロフィール画像の表示範囲を調整する場合は、ドラッグ操作で行います。→P71
- LINEのご利用や更新の確認／ダウンロードには別途パケット通信料がかかりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 待受画面でMENU→[ツール]→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。

2 日付を選択

3 スケジュールを選択

- ［編集］を押すとスケジュールを編集できます。

❖カレンダー画面のサブメニューの操作

1 カレンダー画面でMENU[サブメニュー]

2 各項目を選択

予定登録：新規のスケジュールを登録します。
予定一覧：登録されているスケジュールや祝日などの一覧が表示されます。
当月に移動：当月のカレンダー画面を表示します。
検索：検索ワードを入力してスケジュールを検索します。
SDカード：SDカードバックアップを起動して、スケジュールをmicroSDカードにバックアップ／復元できます。→P92

設定：週開始曜日設定、通知音設定、振動設定をします。
アプリ情報：スケジュールアプリのバージョンやオープンソースライセンスなどを表示します。

◆スケジュールの登録

1 カレンダー画面で日付にカーソル→MENU［サブメニュー］→［予定登録］

2 各項目を設定→📷［登録］

スケジュールが登録されます。
- 待受画面で登録したい日付を入力（例：7月31日の場合は「0731」）→📷［スケジュール］を押すと、入力した日付の予定登録画面が表示されます。

❖通知の日時になると

スケジュールの登録時に通知の設定をすると、設定した日時に通知画面が表示されてお知らせします。
- いずれかのキーを押すと鳴動が停止します。なお、お気に入り機能ボタンの1 2 3およびマナーを押しても鳴動停止の動作となり、「お気に入り機能ボタン」（→P108）で設定している機能は動作しませんのでご注意ください。

◆スケジュールの削除

登録したスケジュールを削除します。

1 カレンダー画面で日付を選択→スケジュールを選択

2 📷［削除］→［はい］

アラーム

目覚ましを利用できます。
- 目覚ましは最大10件登録できます。

◆目覚ましの設定

1 待受画面でMENU→［ツール］→［アラーム］

目覚まし一覧画面が表示されます。

2 MENU［新規登録］→時刻を入力→📷［確定］→各項目を設定→📷［完了］→［OK］

目覚ましが設定されます。
目覚ましのON／OFFを切り替え：目覚ましにカーソル→📷［ON／OFF］

❖目覚ましの日時になると

設定した時間に通知画面が表示されてお知らせします。

- 約1分間何も操作しない、またいずれかのキー（[Q]以外）を押すと鳴動が停止し、スヌーズ（5分後に再度鳴動）へ移行します。なお、お気に入り機能ボタンの[1][2][3]および[マナー]を押しても鳴動停止の動作となり、「お気に入り機能ボタン」（→P108）で設定している機能は動作しませんのでご注意ください。
- 通知画面の操作は次のとおりです。
  - [スヌーズ]：スヌーズ状態のまま元の画面に戻ります。スヌーズを解除する場合は、目覚まし一覧画面でスヌーズを解除したい目覚ましにカーソル→[📷]［ON／OFF］を押してください。
  - [停止]：スヌーズを解除して元の画面に戻ります。
- スヌーズは最長で30分後まで動作が続きます。

◆目覚ましの削除

1 **目覚まし一覧画面で目覚ましを選択→[✉][削除]→[はい]→[OK]**

全件削除：目覚まし一覧画面で[✉]［全件削除］→［はい］→［OK］

メモ

文字を入力してメモを保存できます。

◆メモの登録

1 **待受画面で[MENU]→[ツール]→[メモ]**

メモ一覧画面が表示されます。

2 **[📷][新規作成]**

3 **件名欄を選択→件名を入力**

4 **詳細欄を選択→詳細を入力→[📷][登録]**

◆メモの確認

1 **メモ一覧画面でメモを選択**

メモ詳細画面が表示されます。

- [🌐]［編集］を押すとメモを編集できます。

❖メモ一覧画面のサブメニューの操作

1 **メモ一覧画面で[MENU][サブメニュー]**

2 **各項目を選択**

並べ替え：メモを登録した日付が新しい／古い順に並べ替えます。

一覧表示設定：メモ一覧画面の表示方法を設定します。
SDカード：SDカードバックアップを起動して、メモをmicroSDカードにバックアップ／復元できます。→P92
アプリ情報：メモアプリのバージョンやオープンソースライセンスなどを表示します。

◆メモの削除

1 **メモ一覧画面でメモを選択**
メモ詳細画面が表示されます。

2 **[📷][削除]→[はい]**

電卓

1 **待受画面で[MENU]→[ツール]→[電卓]**

2 **計算する**
入力した数字や記号の消去：[🌐] [←]
数式をすべて消去：[CLR]
数字や数式のコピー：[✉] [コピー]
- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。[CLR]を押して計算結果を消去できます。

お知らせタイマー

指定した時間が経過したことをタイマー音などでお知らせします。

1 **待受画面で[MENU]→[ツール]→[お知らせタイマー]→時間を入力→[📷][開始]**
カウントダウンが始まります。
- 待受画面で時間（分）を入力→[🌐]［タイマー］を押しても開始できます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに「時間です」と表示され、タイマーが鳴動します。本端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知が表示されます。
- [📞]を押すと、タイマーが終了します。
- 約1分間何も操作しない、またはいずれかのキーを押すとタイマーが停止します。なお、お気に入り機能ボタンの[1][2][3]および[マナー]を押しても鳴動停止の動作となり、「お気に入り機能ボタン」（→P108）で設定している機能は動作しませんのでご注意ください。

✔お知らせ
- 通話中に指定した時間になると、通知音が鳴りタイマーの画面が表示されます。

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- microSDカードへバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
  - 電話帳
  - ドコモメール
  - 画像
  - 動画
  - 音楽データ
  - ブックマーク
  - 通話履歴
  - スケジュール／メモ
- microSDカードが未挿入の場合、画像、動画、音楽データなどは本体メモリに保存されます。microSDカードへ保存・復元では、本体メモリに保存されているデータのみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 本端末では「電話帳アカウントコピー」は利用できません。

1 待受画面で MENU →[設定]→[ドコモサービス]→[SDカードバックアップ]

初めて利用する場合は、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックを取り外さないでください。本端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

◆データをmicroSDカードにバックアップ

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 SDカードバックアップ画面で[バックアップ]

2 保存するデータカテゴリを選択

3 [開始]→[開始する]

4 ドコモアプリパスワードを入力→ [確定]

5 [TOP]

✔お知らせ

- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていない電話帳はコピーできません。

- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

◆データを本端末に復元

- あらかじめmicroSDカードへ保存・復元で作成したバックアップファイルが保存されたmicroSDカードを挿入しておいてください。
- 電話帳を復元する場合は、電話帳コピーツールやｉモード端末のmicroSDカードへバックアップする機能で作成したファイルも復元できます。

1 SDカードバックアップ画面で[復元]

2 復元するデータカテゴリの[選択]

3 バックアップファイルを選択→[📷][設定]

4 [追加]／[上書き]

5 [📷][開始]→[開始する]

6 ドコモアプリパスワードを入力→[📷][確定]

7 [●][TOP]

✔お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。

設定

設定メニュー

待受画面でMENU→［設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

メニュー	ショートカット	参照
音・バイブ・LED	8 1	P94
画面	8 2	P96
電池	8 3	P97
通信・機内モード	8 4	P98、P132
セキュリティ	8 5	P100
言語・文字・入力	8 6	P107
便利機能	8 7	P108
ドコモサービス	8 8	P108
端末管理	8 9	P109、P121

音・バイブ・LED

音量や着信音などの設定を行います。

1 待受画面でMENU→［設定］→［音・バイブ・LED］

2 各項目を設定

音量：設定方法→P95
マナーモード：設定方法→P95
着信音：電話着信音を設定します。
- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

通知音：通知音を設定します。
着信バイブ：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
- マナーモード中は設定できません。

充電開始音：充電開始時に音でお知らせするかを設定します。
キー確認音：キーを押したときに音を鳴らすかを設定します。
開閉音：本端末を開閉したときに音を鳴らすかを設定します。
ダイヤル操作音：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。
イヤホンマイク入力：マイク付きのイヤホンを取り付けた場合、音声入力時に本端末／イヤホンのどちらのマイクを使用するかを設定します。

通知LED：新着SMSや不在着信などをお知らせLEDの点滅でお知らせするかを設定します。
LEDの詳細設定：音声電話中や不在着信、本端末を閉じたときのお知らせLEDの色を設定します。
キーバックライト：キーのバックライトを点灯するかを設定します。

◆音量

メディア再生音、着信音と通知音、アラームの音量を調節できます。
• マナーモード中は設定できません。

1 待受画面で MENU →[設定]→[音・バイブ・LED]→[音量]

2 で項目を選択→ でスライダーをスライドして音量を調節→[OK]

◆マナーモード

マナーモードを設定／解除します。
• マナーモードの種類は変更できます。→P96

1 待受画面で MENU →[設定]→[音・バイブ・LED]→[マナーモード]

2 [マナーモード]→[ON]／[OFF]

• マナーモードを設定すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P35

✔お知らせ

• 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
- 待受画面の表示中に # を1秒以上押す
- 本端末を閉じている状態で マナー を1秒以上押す
- オプションメニューが表示されるまで を押し続ける→［通常マナー］※→［OK］

※ 設定しているマナーモードによっては、［サイレントマナー］／［アラームONマナー］が表示されます。

• 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、オートフォーカスロック音、シャッター音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音が鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 待受画面で MENU →［設定］→［音・バイブ・LED］→［マナーモード］→［マナーモード選択］

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。
サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもOFFになります。
アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

画面

画面の明るさや壁紙などの設定を行います。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］

2 各項目を設定

待受：設定方法→P96
ロック画面壁紙：設定方法→P97
カラーテーマ：待受画面などのカラーテーマを設定します。
画面の明るさ：設定方法→P97
画面消灯時間：設定方法→P97
あわせるビュー：年齢による視認性の変化に合わせて、画面の色を見やすく調整するかを設定します。

- 年齢は、［初期設定］の［はじめに設定］（→P49）か、［便利機能］の［音質・画質調整］（→P108）で設定します。

◆待受画面のカスタマイズ

待受画面の壁紙を変更したり、時計・カレンダー表示やｉチャネルの表示を設定したりできます。

1 待受画面で MENU →［設定］→［画面］→［待受］

2 ［壁紙］／［時計・カレンダー］／［ｉチャネル表示設定］

以降は画面の指示に従って操作してください。

◆ロック画面の壁紙設定

ロック画面の壁紙を設定します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[画面]→[ロック画面壁紙]

2 [設定なし(待受壁紙)]／[プリインストール]／[アルバム]

以降は画面の指示に従って操作してください。

◆画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[画面]→[画面の明るさ]

2 でスライダーをスライドして明るさを調整→[OK]

◆画面消灯時間

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[画面]→[画面消灯時間]

2 時間を選択

電池

電池残量の確認などを行います。

1 待受画面で MENU →[設定]→[電池]

2 各項目を選択

電池残量（%）：電池残量と充電状況を表示します。

電池使用時間：電池使用時間を表示します。選択すると電池消費量の詳細などを確認できます。

使用中のアプリ：使用中のアプリを表示します。各アプリを選択すると使用状況の詳細を確認できます。

通信・機内モード

◆データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 **待受画面で MENU →［設定］→［通信・機内モード］→［データ使用］**

2 **［データ通信］にチェック**

期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- ［制限設定］にチェックを付けると、使用量の制限を設定できます。
- MENU ［サブメニュー］→［バックグラウンドデータを制限］にチェックを付けると、バックグラウンドで動作しているアプリのデータ通信を制限することができます。
- MENU ［サブメニュー］→［データの自動同期］にチェックを付けると、オンラインサービスの情報を本端末に同期することができます。

◆パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 **待受画面で MENU →［設定］→［通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］**

2 **［データ通信を有効にする］→［OFF］**

◆アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 **待受画面で MENU →［設定］→［通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］**

❖アクセスポイントの追加

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 MENU[サブメニュー]→[新しいAPN]

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→MENU[サブメニュー]→[保存]

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 MENU[サブメニュー]→[初期設定にリセット]

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択→[編集]→MENU[サブメニュー]→[APNを削除]を選択すると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

◆機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]

2 [機内モード]にチェック／チェックを外す

✔お知らせ

- [ ] を押し続けて表示されるオプションメニューでも機内モードを設定／解除できます。

セキュリティ

ロックに関するさまざまな設定を行います。

1 待受画面で MENU →[設定]→[セキュリティ]

2 各項目を設定

ロック：画面のロック機能を選択します。
クローズロック：設定方法→P102
無操作ロック：設定方法→P103
端末認証方法：画面ロックの解除方法を設定します。
暗証番号（数字）：設定方法→P104
パスワード（英数字）：設定方法→P104
パスワード表示：暗証番号／パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。
情報セキュリティ：次の設定を行うことができます。
ストレージのタイプ：設定方法→P104
信頼できる認証情報：設定方法→P104
証明書のインストール：設定方法→P105
認証ストレージの消去：設定方法→P105
SDカード パスワード設定：設定方法→P105
再開可能なアプリを表示しない：設定方法→P106
デバイス管理機能の選択：デバイス管理機能を有効にするかを設定します。
提供元不明のアプリ：設定方法→P106
SIMカードロック設定※：設定方法→P106
※ドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

◆本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P107
PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことで待受画面が表示されるようになります。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことで待受画面が表示されるようになります。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の端末に取り付けて使用する場合は、その端末にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

◆自動キーロックの設定

本端末の自動キーロックには、クローズロックと無操作ロックの2つの機能があります。

- ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、本端末を開いて暗証番号／パスワード入力画面で MENU ［緊急発信］→緊急通報番号を入力し ✆ を押します。

❖クローズロック

本端末を閉じるたびにキー操作がロックされます。本端末を開くたびに認証操作が必要なため、他人が不正に本端末を使用するのを防げます。

- クローズロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話を受ける操作、メール受信、アラームの鳴動停止など、一部の機能が利用できます。

1 待受画面で MENU →［設定］→［セキュリティ］→［ロック］→［クローズロック］

2 暗証番号またはパスワードを入力→◉[決定]

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 [クローズロック]→[ON]

4 [ロック起動時間]→画面ロックが起動する時間を選択

✔お知らせ

- ロック解除時の暗証番号／パスワードの設定は変更できます。→P104
- クローズロックが「ON」の場合に電源を入れ直すと、本端末を閉じていなくてもクローズロックが起動し、暗証番号／パスワード入力画面が表示されます。
- 既に無操作ロックを起動している場合、クローズロックを設定しても起動しません。

❖無操作ロック

設定時間内に無操作だった場合に、キー操作を自動でロックします。解除するたびに認証操作が必要なため、他人が不正に本端末を使用するのを防げます。

- ワンセグ視聴中やビデオ再生、赤外線通信、電話の着信／発信／保留／通話中、ソフトウェア更新機能を起動中の場合はロックがかかりません。
- 経過時間内に起動する機能によっては、経過時間にロックがかからなかったり、設定した時間よりもロックがかかるまでに時間がかかったりする場合があります。
- 無操作ロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話を受ける操作、メール受信、アラームの鳴動停止など、一部の機能が利用できます。

1 待受画面でMENU→[設定]→[セキュリティ]→[ロック]→[無操作ロック]

2 暗証番号またはパスワードを入力→◉[決定]

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 [無操作ロック]→[ON]

4 [ロック起動時間]→画面ロックが起動する時間を選択

✔お知らせ

- ロック解除時の暗証番号／パスワードの設定は変更できます。→P104
- 無操作ロックが「ON」の場合に電源を入れ直すと、無操作ロックが起動し、暗証番号／パスワード入力画面が表示されます。
- 既にクローズロックを起動している場合、無操作ロックを設定しても起動しません。

◆暗証番号／パスワードの設定

画面ロックの解除時に使用する暗証番号／パスワードなどを設定します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[セキュリティ]→[端末認証方法]

2 暗証番号またはパスワードを入力→●[決定]

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 項目を選択

暗証番号（数字）：暗証番号（4～8桁の数字）でロックを解除するように設定します。
パスワード（英数字）：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロックを解除するように設定します。

4 📷[登録]→[OK]

❖画面ロックをかける

自動キーロック（→P102）と暗証番号／パスワード（→P104）を設定した後に、本端末を閉じる、または操作を行わずに［無操作ロック］で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、いずれかのキーを押してスリープモードを解除し、設定したロック解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✔お知らせ

- 画面ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- 画面ロックが解除されなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→P102

◆認証情報の管理

信頼できる認証情報や証明書を表示したり、VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をインストールしたりします。

❖認証情報ストレージのタイプの表示

1 待受画面で MENU →[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [ストレージのタイプ]を確認

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 待受画面で MENU →[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[信頼できる認証情報]

✔お知らせ

- インストールした証明書を削除する場合は、［認証ストレージの消去］から削除してください。→P105

❖認証情報や証明書のインストール

認証情報や証明書をインストールします。

1 待受画面で MENU →［設定］→［セキュリティ］→［情報セキュリティ］→［証明書のインストール］

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→［OK］

4 認証情報／証明書の名前を入力→［OK］

❖認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 待受画面で MENU →［設定］→［セキュリティ］→［情報セキュリティ］

2 ［認証ストレージの消去］→［OK］

◆SDカード パスワード設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。
- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P104

1 待受画面で MENU →［設定］→［セキュリティ］→［情報セキュリティ］

2 ［SDカード パスワード設定］→認証操作

3 各項目を設定

- SDカードのマウント解除についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］を選択します。

パスワード登録：microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。

- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。

パスワード認証：本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付けた場合は、パスワードの認証を行います。

パスワード変更：microSDカードのパスワードを変更します。

パスワード削除：microSDカードのパスワードを削除します。
パスワード強制削除：microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。
- 本端末以外でパスワードを設定したmicroSDカードを取り付け、本端末でパスワード認証を行う前の場合のみ操作できます。

■microSDカードにパスワードを設定した場合

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。

◆再開可能なアプリの表示／非表示

[マナー]を長押ししたときに、再開可能なアプリを表示するかを設定します。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [再開可能なアプリを表示しない]にチェック／チェックを外す

◆提供元不明のアプリのインストールを許可

メールなどから入手したアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]

2 [提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認して[OK]

◆PINコードの設定

❖SIMカードロック設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、操作2で［SIMカードをロック］のチェックを外します。

❖PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック］にチェックを付ける）しておく必要があります。

1 待受画面でMENU→[設定]→[セキュリティ]→[情報セキュリティ]→[SIMカードロック設定]

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→◉[決定]

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 コード入力画面でPINロック解除コードを入力→◉[決定]

2 新しいPINコードを入力→◉[決定]

3 もう一度新しいPINコードを入力→◉[決定]

言語・文字・入力

本端末で使用する言語を変更したり、文字の大きさを変更したりします。

1 待受画面でMENU→[設定]→[言語・文字・入力]

2 各項目を設定

Language：設定方法→P107
フォントサイズ：文字の大きさを変更します。
文字入力設定：設定方法→P47

◆英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 待受画面でMENU→[設定]→[言語・文字・入力]→[Language]

2 [English]

✔お知らせ

- 言語表示の切り替えには時間がかかる場合があります。
- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  待受画面でMENU→［Settings］→［Lang/Text］→［言語］→［日本語］

便利機能

Bluetooth通信やお気に入り機能ボタンなどの設定を行います。

1 待受画面でMENU→[設定]→[便利機能]

2 各項目を設定

Bluetooth：設定方法→P124
お気に入り機能ボタン：設定方法→P108
音質・画質調整：年齢を設定します。
かんたんお引越し：設定方法→P51

◆お気に入り機能ボタン

1 2 3および マナー（サイドキー）を押したときの機能を設定します。

1 待受画面でMENU→[設定]→[便利機能]→[お気に入り機能ボタン]

2 ボタンを選択→[短押し]／[長押し]→機能を選択

ドコモサービス

ドコモのサービスの設定を行います。

1 待受画面でMENU→[設定]→[ドコモサービス]

2 各項目を設定

ドコモアプリパスワード：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。
- 初期値は「0000」に設定されています。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
SDカードバックアップ：microSDカードを利用して、電話帳やドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。→P92
端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。
遠隔初期化：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。

✔お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、起動できなくなることがあります。

端末管理

日付や時刻、スクリーンセーバーやmicroSDカードなどの設定を行います。

◆日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- ［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］のチェックを外すと、日付とタイムゾーン、時刻を手動で設定できます。

1 待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［日付と時刻］

2 各項目を設定

日付と時刻の自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。
タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。
日付設定：日付を手動で設定します。
時刻設定：時刻を手動で設定します。
タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。
24時間表示：24時間表示にするかを設定します。
日付形式の選択：日付の表示形式を選択します。

◆SDカードと保存領域

1 待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［SDカードと保存領域］

2 各項目を設定

合計容量（内蔵ストレージ）：本端末のメモリの合計容量とデータごとの保存容量、空き容量を確認します。
合計容量（SDカード）：microSDカードの合計容量と空き容量を確認します。
SDカードをマウント／SDカードのマウント解除：microSDカードを認識させる、またはmicroSDカードの認識を解除して安全に取り外します。
SDカード内データを消去：設定方法→P110
SDカード パスワード設定：設定方法→P105

❖microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **待受画面でMENU→[設定]→[端末管理]→[SDカードと保存領域]→[SDカードのマウント解除]**

- microSDカードのマウント解除についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］を選択します。

2 **[SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]**

- 暗証番号の入力画面が表示された場合は、画面の指示に従って入力します。

3 **[すべて消去]**

◆本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。

- SDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P110

1 **待受画面でMENU→[設定]→[端末管理]→[データの初期化]→[携帯端末をリセット]**

2 **暗証番号またはパスワードを入力→◉[決定]**

- 初めて操作するときは、暗証番号（初期値）を入力します。

3 **[すべて消去]**

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切らないでください。

◆高度な設定

アプリケーションやスクリーンセーバー、VPNなどの設定を行います。

1 **待受画面でMENU→[設定]→[端末管理]→[高度な設定]**

2 **各項目を設定**

ロック画面・ウィジェット表示：設定方法→P111
スクリーンセーバー：設定方法→P111
VPN：設定方法→P111
アプリケーション：設定方法→P112
位置情報：設定方法→P112

❖ウィジェット

ロック画面にウィジェットを貼り付けることができます。

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[ロック画面・ウィジェット表示]

2 MENU [変更]→ウィジェットを選択→ ● [選択]→ ● [貼る]→[OK]

❖スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[スクリーンセーバー]→ ✉ [ON]

2 スクリーンセーバーを選択→ ● [選択]

- MENU ［サブメニュー］→［今すぐ起動］を選択すると、スクリーンセーバーが起動します。
- ✉ ［OFF］／［ON］を押すとスクリーンセーバー機能のON／OFFを切り替えできます。

❖VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめセキュリティ解除方法の暗証番号またはパスワードを設定してください。→P104

■VPNの追加

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[VPN]

2 📷 [追加]→各項目を設定→[保存]

■VPNへの接続

1 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[VPN]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続すると、ステータスバーに🔑が表示されます。

■VPNの切断

1 アプリ通知一覧を開く→[✉][実行中]

2 VPN接続中を示す通知を選択→[切断]

❖アプリケーション

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

■本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択

■アプリのデータやキャッシュの消去

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]

- [データを消去] を選択した場合は [OK] を選択します。

■アプリの無効化

- 無効化したアプリはアプリ一覧画面や待受画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- [無効にする] を選択した場合は [OK] を選択します。

✔お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

❖位置情報

位置情報の測位について設定します。

■位置情報の設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[位置情報]

2 [位置情報提供]をONにする

3 [高精度]／[電池節約]／[GPSのみ]からモードを選択

✔お知らせ

- [高精度] または [GPSのみ] モードを利用する場合は、外付けのBluetooth対応GPS機器（市販品）が必要です。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

■Bluetooth対応GPS機器（市販品）との接続

外付けのBluetooth対応GPS機器（市販品）との接続を設定します。

- 本端末のBluetooth機能について詳しくは、「Bluetooth®通信」をご覧ください。→P124
- Bluetooth対応GPS機器（市販品）のご使用について詳しくは、お使いのGPS機器の取扱説明書をご覧ください。

1 待受画面でMENU→[設定]→[端末管理]→[高度な設定]→[位置情報]

2 [未設定]→Bluetooth対応GPS機器（市販品）を選択

- Bluetooth機能のON／OFFやGPS機器（市販品）とのペアリングなどの操作を行う場合は、[Bluetooth設定] を選択します。

◆ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 待受画面でMENU→[設定]→[端末管理]→[ユーザー補助]

2 各項目を設定

テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。

- お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

◆端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 待受画面でMENU→[設定]→[端末管理]→[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェア更新：設定方法→P148
端末の状態：電池の状態や電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。
法的情報：オープンソースライセンスに関する詳細を表示します。
モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

データ管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

◆microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカードに対応しています（2015年5月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✔お知らせ

- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

◆microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。→P40

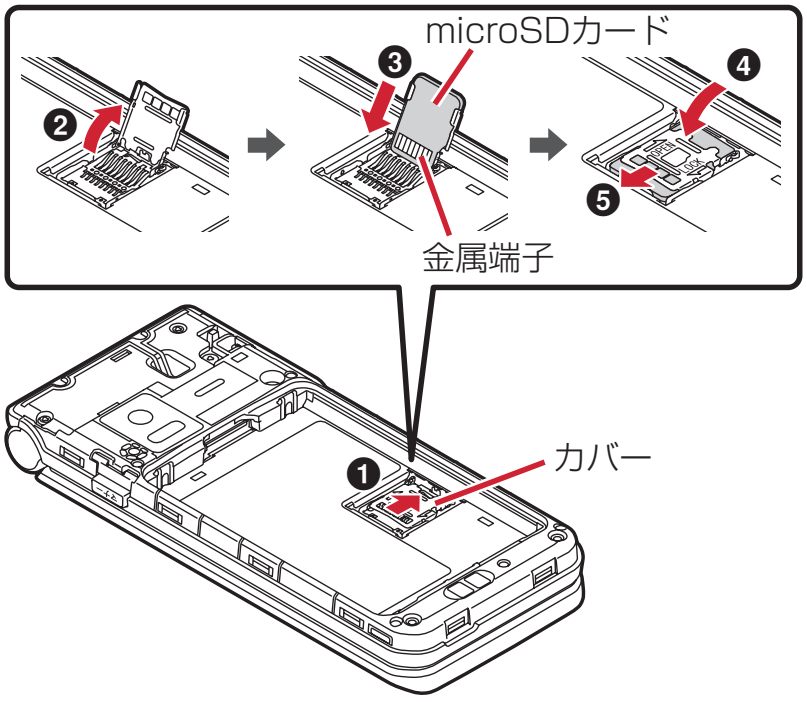
■取り付けかた

1 カバーを❶の方向へスライドさせ、❷の方向へ持ち上げる

2 microSDカードの金属端子面を手前にして、❸の方向へ奥まで差し込む

microSDカードを差し込む位置と方向に注意して、正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやカバーの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。

3 カバーを❹の方向へ閉じ、❺の方向へスライドさせる



■取り外しかた

1 カバーを❶の方向へスライドさせ、❷の方向へ持ち上げる

2 microSDカードをまっすぐ引き出す

3 カバーを❹の方向へ閉じ、❺の方向へスライドさせる

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存された静止画や動画、ミュージック、ドキュメントファイル（Word／Excel／Power Point／PDF）などを表示／再生できます。

◆画像の表示

カメラで撮影した静止画や本端末にダウンロードした静止画を表示／再生します。

- JPEG、BMP、GIF、PNG、WEBP形式のデータを表示できます。ただし、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 待受画面で MENU →［アルバム］→［カメラ写真］／［ダウンロード画像］

2 画像を選択

画像再生画面が表示されます。

前後の画像に切り替え：

拡大：●［拡大］

- 拡大中に CLR を押すと元の表示に戻ります。

スクロール（表示領域より大きな画像の場合）：

全画面表示：✉［全画面］

画像の回転：📷［回転］

❖画像再生画面のサブメニューの利用

サブメニューには「送信」「削除」「スライドショー」「画像を登録」「設定」「詳細情報」があります。

1 画像再生画面で MENU［サブメニュー］→各項目を操作

◆動画の再生

カメラで撮影した動画などを再生します。

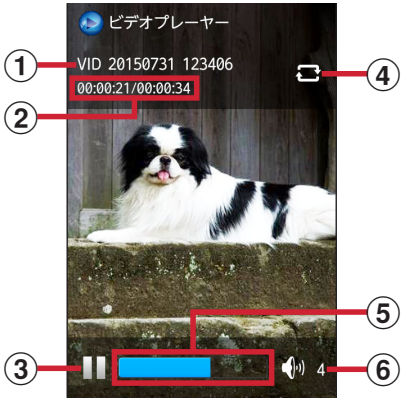
- H.263、H.264、MPEG-4、VP8形式のデータを再生できます。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 待受画面で MENU →［アルバム］→［動画］

2 動画を選択

動画再生画面が表示されます。

❖動画再生画面の見かた



①ファイル名
②再生時間／総再生時間
③再生の状態
▶／❚❚：再生中／一時停止中
◀◀／▶▶：早戻し中／早送り中
④リピートの状態
🔁／🔁：リピート再生有効／無効
⑤再生位置インジケータ
⑥再生音量

❖動画再生中の操作

動画再生中は次の操作ができます。
音量調節：
コマ戻し／コマ送り：
早戻し／早送り再生：（1秒以上）
一時停止／再生：［停止］／［再生］
全画面と通常の再生画面の切り替え：［ガイド］
縦画面／横画面に切り替え：［画面回転］
一覧画面に戻る：CLR
先頭へジャンプ：［先頭へ］

❖動画再生中のサブメニューの利用

サブメニューには「表示切替」「リピート再生」「送信」「削除」「詳細情報」「ヘルプ」があります。

1 動画再生画面で MENU［サブメニュー］→各項目を操作

◆ミュージックの再生

パソコンなどから転送した音楽を再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、AAC ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM、WMAです。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 待受画面でMENU→[データ]→[ミュージック]

2 [アーティスト]／[アルバム]／[曲]／[プレイリスト]にカーソル

一覧画面が表示されます。

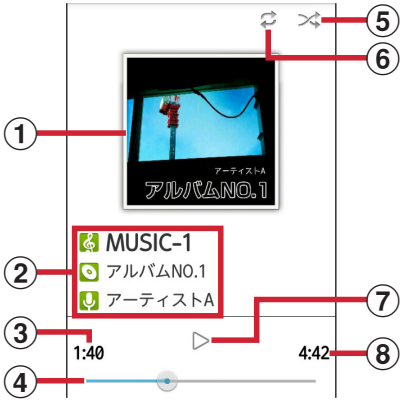
- 再生中の曲は曲名の右側に▶が表示されます。

3 音楽を選択

音楽再生画面が表示されます。

- [アーティスト]／[アルバム]／[プレイリスト]からを選択する場合は、再生する音楽が表示されるまでアーティスト名／アルバム／プレイリスト名などを選択します。

❖音楽再生画面について



①アルバムアートワーク
②曲名／アルバム名／アーティスト名
③再生時間
④再生位置

- を押すと前のファイル／次のファイルを再生します。を押した場合は操作の状態によってはファイルの先頭に戻ります。
- を1秒以上押すと早戻し／早送りします。

⑤シャッフルの状態

／：シャッフルOFF／シャッフルON

- シャッフルを設定する場合は、音楽再生画面でMENU［サブメニュー］→［シャッフル設定］→［シャッフルOFF］／［シャッフル］を選択します。

⑥リピートの状態

／／：リピートOFF／1曲リピート／全曲リピート

- リピートを設定する場合は、音楽再生画面でMENU［サブメニュー］→［リピート設定］→［1曲リピート］／［全曲リピート］／［リピートOFF］を選択します。

⑦再生の状態

／：一時停止中／再生中

⑧総再生時間

❖音楽再生中のサブメニューの利用

サブメニューには「再生中リスト」「シャッフル設定」「リピート設定」「ライブラリ」「プレイリストに追加」「着信音に設定」「検索」「削除」「ヘルプ」があります。

1 音楽再生画面でMENU［サブメニュー］→各項目を操作

❖プレイリストの作成

曲をプレイリストに登録して、お気に入りの曲だけを再生することができます。

1 待受画面でMENU→［データ］→［ミュージック］

2 ［アーティスト］／［アルバム］／［曲］／［プレイリスト］にカーソル

一覧画面が表示されます。

3 アーティスト／アルバム／曲にカーソル→MENU［サブメニュー］→［プレイリストに追加］

4 ［新規］

既存のプレイリストに曲を追加：既存のプレイリストを選択

5 プレイリスト名を入力→［保存］

❖プレイリストの編集

プレイリスト内の曲を並べ替えたり削除します。

1 待受画面でMENU→［データ］→［ミュージック］

2 ［プレイリスト］にカーソル

一覧画面が表示されます。

3 プレイリストを選択→曲にカーソル

4 各項目を操作

並べ替え：［移動］→→［確定］

削除：MENU［サブメニュー］→［プレイリスト内削除］→［はい］

❖プレイリストの削除

プレイリストを削除します。

1 待受画面でMENU→[データ]→[ミュージック]

2 [プレイリスト]にカーソル

一覧画面が表示されます。

3 削除するプレイリストにカーソル→MENU[サブメニュー]→[削除]→[はい]

◆ドキュメントの表示

Word、Excel、PowerPoint、PDF、TEXTファイルなどを表示します。

- Word97～2010（拡張子doc、docx）、Excel97～2010（拡張子xls、xlsx）、PowerPoint97～2010（拡張子ppt、pptx）を表示できます。ただし、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 待受画面でMENU→[データ]→[ドキュメント]

2 フォルダ／データを選択

ドキュメント表示画面が表示されます。

✔お知らせ

- 画像が多い場合など、データによっては表示に時間がかかる場合があります。また、対応していない形式や複雑なデザインなどを含む場合、正しく表示されないことがあります。

❖ドキュメント表示中の操作

表示中の基本的な操作は次のとおりです。

スクロール：（押し続けると連続スクロール）
前後のページに移動：✉［前ページ］／🌐［次ページ］
最初／最後のページに移動：4／6
拡大／縮小：3／1
検索：5

- MENU［前候補］／📷［次候補］を押すと前後の候補に移動し、一致した語が緑色で強調表示されます。CLRを押すと元の表示に戻ります。

■ドキュメント表示中のサブメニューの利用

サブメニューには「移動」「検索」「ページ表示」「設定」「プロパティ」「共有」「エンコード」「バージョン情報」があります。

- 「ページ表示」には、「画面に合わせる」「幅に合わせる」「高さに合わせる」「拡大」「縮小」「選択領域の拡大」があります。
- 「設定」には「リフロー」「マップ」「初期ページ表示」「表示状態を保存」があります。
- 「共有」では「ドコモメール」「Bluetooth」を利用してドキュメントを共有できます。

- 「エンコード」には「デフォルト」「日本語（Shift_JIS）」「簡体字中国語（GB2312）」「韓国語（EUC-KR）」「キリル言語（ISO-8859-5）」があります。

1 **ドキュメント表示画面で MENU [サブメニュー]→各項目を操作**

◆その他のデータ

「アルバム」の「カメラ写真」「ダウンロード画像」「動画」、「データ」の「ミュージック」「ドキュメント」で表示できないファイルを確認できます。

1 **待受画面で MENU →[データ]→[その他]**

その他ファイル一覧画面が表示されます。

- 表示する保存先を切り替えるには 📷［保存先］→［本体＋microSD］／［本体］／［microSD］を選択します。

❖その他ファイル一覧画面のサブメニューの利用

サブメニューには「表示切替」「送信」「移動・コピー」「1件削除」「選択削除」「ソート」「メモリ使用状況」「詳細情報」があります。

1 **その他ファイル一覧画面で MENU [サブメニュー]→各項目を操作**

パソコンとの接続

◆本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01（別売品）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows Vista、Windows 7、Windows 8／8.1に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む**

- microSDカードがマウントされていない場合は、待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［SDカードと保存領域］→［SDカードをマウント］を選択します。
- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作4に進みます。

2 待受画面で MENU →[設定]→[端末管理]→[SDカードと保存領域]→ MENU [サブメニュー]→[USBでパソコンに接続]

3 接続モードを選択

メディアデバイス（MTP）：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。
カメラ（PTP）：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。

4 パソコンで画面の指示に従って操作

5 目的の操作を行う

✔お知らせ

- ［カメラ（PTP）］を選択した場合は、本端末に取り付けたmicroSDカードのデータをパソコンから操作することはできません。

データ通信

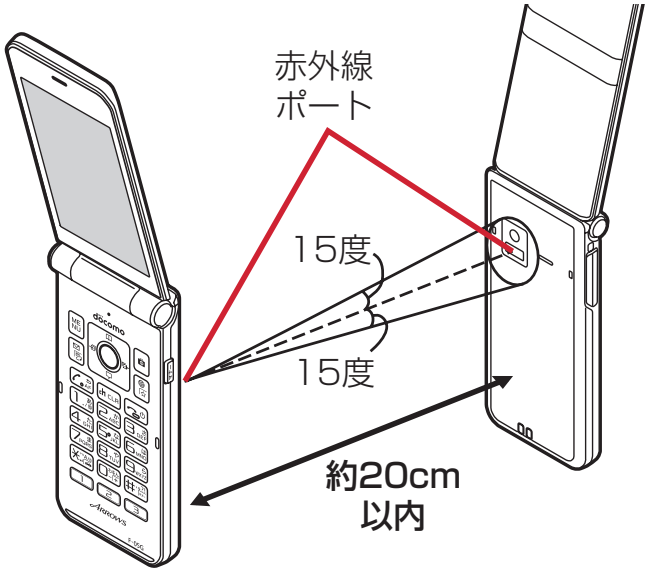
赤外線通信

◆赤外線通信の利用

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

❖赤外線通信のご利用にあたって

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
  電話帳※、マイプロフィール、静止画、動画
  ※全件送信に対応しています。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中止されます。
- 赤外線通信中に本端末を閉じた場合、通信は中止されます。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。



◆赤外線送受信

❖マイプロフィールを送信

1 待受画面で MENU →[プロフィール]
2 MENU [サブメニュー]→[赤外線送信]
3 [はい]→受信側を受信待ち状態にする

❖データの1件送信

〈例〉電話帳を1件送信する

1 待受画面で ◎ →連絡先を選択

2 MENU [サブメニュー]→[赤外線送信]→[はい]→受信側を受信待ち状態にする

❖データの全件送信

〈例〉電話帳を全件送信する

1 待受画面でMENU→[ツール]→[赤外線]

2 [全件送信]→[電話帳]→受信側と同じ認証パスワードを入力→[決定]→[はい]→受信側を受信待ち状態にする

❖データの受信

〈例〉電話帳を受信する

1 待受画面でMENU→[ツール]→[赤外線]

2 [1件受信]→[はい]→[はい]

全件受信：[全件受信]→送信元と同じ認証パスワードを入力→[決定]→[はい]→[はい]

✔お知らせ

- 電話帳の全件受信時は上書き保存されますので、それまでに登録されていた電話帳はすべて消去されます。

Bluetooth®通信

◆Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P153
- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。

- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに[bt]が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[便利機能]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- aptXについての画面が表示されたら［OK］を選択します。

◆Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーに[bt]が表示されます。
- プロファイルがHSP／A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

1 待受画面で[MENU]→[設定]→[便利機能]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする

3 [Bluetooth機器の検索]

- 接続するBluetooth機器が表示されない場合は、MENU［検索］を選択します。

4 検出されたBluetooth機器を選択→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[接続]／[ペア設定する]

■他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］／［ペア設定する］を選択してください。

■他のBluetooth機器で本端末を検出する場合

［他のBluetoothデバイスには非表示］／［ペア設定したデバイスにのみ表示］を選択して［周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示］にし、Bluetooth機器でデバイスの検索を行ってください。

◆Bluetooth機器とのデータ送受信

アルバム（→P116）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉アルバムのファイルを送信する

1 待受画面でMENU→[アルバム]→画像を選択

2 MENU[サブメニュー]→[送信]→[Bluetooth送信]→[OK]

3 Bluetooth機器を選択

アプリ通知一覧を開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に待受画面で●→i→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

- 待受画面以外を表示しているときにファイル着信通知があった場合は、マナーを押してアプリ通知一覧から着信の承諾を行うこともできます。
- 受信したファイルは、待受画面でMENU→［設定］→［便利機能］→［Bluetooth］→［受信済みファイルを表示］を選択して確認できます。

◆Bluetooth機器との接続解除

1 待受画面でMENU→[設定]→[便利機能]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth機器の検索]→接続を解除したい機器を選択→[接続を解除]→[OK]

◆Bluetooth機器とのペアリング解除

1 待受画面でMENU→[設定]→[便利機能]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[Bluetooth機器の検索]→ペアリングを解除したい機器を選択→[ペアを解除]

◆Bluetoothの設定

❖他のBluetooth機器に表示される本端末の名前を変更

1 待受画面でMENU→[設定]→[便利機能]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[端末の名前を変更]→名前を入力→[名前を変更]

❖他のBluetooth機器に表示される時間を変更

1 待受画面でMENU→[設定]→[便利機能]→[Bluetooth]

2 [Bluetooth]をONにする→[表示のタイムアウト]→表示される時間を選択

安心・安全サービス

災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した時に、安否情報の登録と確認ができるサービスです。
本端末から文字でお客様の安否情報を登録し、家族などの携帯電話、パソコンなどから安否情報の確認ができます。
災害用伝言板の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面でMENU→[あんしん]→[災害用伝言板]

以降は画面の指示に従って操作してください。

災害用音声お届けサービス

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した時に、安否情報を音声メッセージでお届けできるサービスです。
本端末で音声を録音し、音声メッセージとしてお客様の安否情報を家族などにお届けできます。
災害用音声お届けサービスの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆メッセージの送信

1 待受画面でMENU→[あんしん]→[災害用音声お届けサービス]

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を確認して、MENU［同意する］を押します。

2 [音声メッセージの送信]→送信先選択方法を選択→電話番号を入力または選択→●[選択]

以降は画面の指示に従って操作してください。

◆メッセージの確認

1 待受画面でMENU→[あんしん]→[災害用音声お届けサービス]

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を確認して、MENU［同意する］を押します。

2 [新着音声メッセージの確認]

以降は画面の指示に従って操作してください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリの空き容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコン（→P35）が表示されます。また、待受画面の新着情報アイコン（→P37）を選択すると内容が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P129

◆受信したエリアメールの表示

1 待受画面で MENU →[あんしん]

2 [緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択

◆エリアメールの削除

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[緊急速報「エリアメール」]

2 エリアメールにチェック→[削除]→[OK]

- すべてを選択するには［全選択］を選択します。

◆緊急速報「エリアメール」設定

1 待受画面で MENU →[あんしん]→[緊急速報「エリアメール」]

2 MENU [サブメニュー]→[設定]

3 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。
着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。
受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス2になります。3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- 海外でご利用になる前に、以下をあわせてご覧ください。
  - ドコモのホームページ

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850
電話	○	○
SMS	○	○
メール※	○	○
ブラウザ※	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。→P132

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。

海外でご利用になる前に

◆出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆事前設定

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。日本国内から（→P60）、海外から（→P136）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆海外で利用するための設定

❖データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

1 待受画面で MENU →［設定］→［通信・機内モード］→［モバイルネットワーク］

2 ［データローミング］→［ON］→注意画面の内容を確認して［OK］

❖通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- データ通信が有効の場合は検索できません。データ通信の無効化についての確認画面が表示された場合は、内容を確認して［OK］を選択します。

2 通信事業者のネットワークを選択

❖ネットワークモードの設定

1 待受画面でMENU→[設定]→[通信・機内モード]→[モバイルネットワーク]→[ネットワークモード]

2 [3G]が選択されていることを確認

❖日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P109

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 **待受画面で［0］（1秒以上）→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力**

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

2 ［発］

- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］をONにしている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→［発］→［変換後の番号で発信］を選択します。

◆滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **待受画面で［発］**

2 **電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3 ［発］

◆滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミング利用時の設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

◆海外での発着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定やローミングガイダンスの設定をしたりします。

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **待受画面で MENU →［電話機能］→［発着信・通話設定］→［海外設定］**

2 **目的の操作を行う**

ローミング時の着信を規制：［ローミング時着信規制］→［規制開始］／［規制停止］／［設定確認］

- ［規制開始］を選択した場合は［全着信規制］／［テレビ電話／64Kデータ着信規制］→［OK］を選択し、ネットワーク暗証番号を入力します。
- ［規制停止］を選択した場合は［OK］を選択し、ネットワーク暗証番号を入力します。

ローミング時の着信を通知：[ローミング着信通知] → [通知開始] ／ [通知停止] ／ [通知設定確認]

- 電源が入っていないときや圏外にいたときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます（無料）。
- [通知開始] または [通知停止] を選択した場合は [OK] を選択します。

ローミングガイダンスの設定：[ローミングガイダンス] → [サービス開始] ／ [サービス停止] ／ [設定確認]

- [サービス開始] または [サービス停止] を選択した場合は [OK] を選択します。

国際ダイヤルアシストの設定：[国際ダイヤルアシスト] →各項目を設定

- [自動変換機能] をONにすると、自動変換が有効になります。
- [国番号] を選択すると、国際電話をかけるときの国番号の登録や追加などができます。
- [国際プレフィックス] を選択すると、国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の登録や追加などができます。

◆ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話などのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 待受画面で MENU →[電話機能]→[発着信・通話設定]→[海外設定]→[ネットワークサービス]

2 サービスを選択

遠隔操作（有料）：[OK] を選択して、音声ガイダンスに従って操作します。
番号通知お願いサービス（有料）：[OK] を選択して、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミング着信通知（有料）：[OK] を選択して、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミングガイダンス（有料）：[OK] を選択して、音声ガイダンスに従って操作します。
留守番電話サービス（有料）：項目を選択して [OK] を選択し、音声ガイダンスに従って操作します。
転送でんわサービス（有料）：項目を選択して [OK] を選択し、音声ガイダンスに従って操作します。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［3G］に設定します。→P133
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定します。→P133

付録／索引

メニュー一覧

■メール

メニュー	ショートカット	参照
メール	1 1	P65
クイックメール設定	1 2	P67
SMS	1 3	P67

■Web

メニュー	ショートカット	参照
dメニュー・検索	2 1	P69
ブックマーク	2 2	P73
サイト閲覧履歴	2 3	P74
Google検索	2 4	P70
ブラウザ起動	2 5	P70
ブラウザ設定	2 6	P74

■あんしん

メニュー	ショートカット	参照
災害用伝言板	3 1	P128
災害用音声お届けサービス	3 2	P128
緊急速報「エリアメール」	3 3	P129

■カメラ

メニュー	ショートカット	参照
静止画撮影	4 1	P78
動画撮影	4 2	P80

■アルバム

メニュー	ショートカット	参照
カメラ写真	5 1	P116
ダウンロード画像	5 2	P116
動画	5 3	P116

■データ

メニュー	ショートカット	参照
ミュージック	6 1	P118
ドキュメント	6 2	P120
その他	6 3	P121

■電話機能

メニュー		ショートカット	参照
電話帳		7 1	P62
伝言メモ	伝言メモ	7 2 1	P59
	伝言メモ再生	7 2 2	P59
	伝言メモ設定	7 2 3	P59
リダイヤル		7 3	P58
着信履歴		7 4	P58
発着信・通話設定	ネットワークサービス	7 5 1	P60
	海外設定	7 5 2	P60
	着信設定	7 5 3	P60
	発信設定	7 5 4	P61
	その他設定	7 5 5	P61
短縮ダイヤル設定		7 6	P54

■設定

- 設定メニューについては「設定メニュー」をご覧ください。→P94

■ツール

メニュー	ショートカット	参照
電卓	9 1	P91
アラーム	9 2	P89
スケジュール	9 3	P88
メモ	9 4	P90
お知らせタイマー	9 5	P91
QRコードリーダー	9 6	P81
赤外線	9 7	P123
取扱説明書	9 8	H2
LINE	9 9	P87

■ワンセグ

メニュー	ショートカット	参照
ワンセグ	＊	P84

■プロフィール

メニュー	ショートカット	参照
プロフィール	0	P38

■Fサイト

メニュー	ショートカット	参照
Fサイト	#	P75

トラブルシューティング（FAQ）

◆故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P148
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P40
- 電池切れになっていませんか。

●画面が動かない／電源が切れない

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、電池パックをいったん取り外し、数秒間待ったあと再度取り付け、電源を入れ直してください。→P41

※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

●充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P40
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P43
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P42
- 卓上ホルダ（付属品）を使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- PC接続用USBケーブル T01（別売品）やmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■端末操作・画面

●キーを押しても動作しない

電源が切れていませんか。→P44

●電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P52
  - CLR でアプリを終了
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●ドコモnanoUIMカードが認識されない

ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P39

●キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やワンセグの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

●端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止することがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

●ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 画面の明るさ→P97
  - 画面消灯時間→P97

●ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P109

●端末動作が不安定

- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次の方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源を切った状態で［⏻］を2秒以上押し、docomoのロゴが表示されたら［MENU］または［●］を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に［セーフモード］と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。

※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

●アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない／エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P112

■通話・音声

●キーを押しても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P99

●通話中、相手の声が聞こえにくい／相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、はっきりボイス、ゆっくりボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P58

●通話ができない（場所を移動しても▂の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P39、P40、P44
- 電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は▂を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P60
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●着信音が鳴らない

- 音量の［着信音と通知音］を0にしていませんか。→P95
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→P32
  - 公共モード（電源OFF）→P60
  - マナーモード→P95
  - 機内モード→P99
- 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P60
- 次の設定を0秒にしていませんか。
  - 伝言メモの［着信呼出設定］→P59
  - 留守番電話サービスの［呼出時間設定］→P60
  - 転送でんわサービスの［呼出時間］→P60

●電話がつながらない

- ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P39
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P99

■メール

●メールを自動で受信しない

メール設定の通信設定で自動通信設定を［毎回確認する］または［OFF］に設定していませんか。→P67

■ワンセグ・カメラ

●ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い所にいませんか。
  向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P83
- 視聴場所に合ったチャンネルリストを使用していますか。→P86

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 本端末のカメラにはオート撮影機能が搭載されていますが、手動オートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせることができます。→P31

■海外利用

●海外で、Rが表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページで確認してください。
- 通信事業者を［自動的に選択］に設定してください。→P133
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P44

●海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

●海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P135

●相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P132

■データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P115

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●画像を表示しようとすると／などが表示される

画像データが壊れている場合に表示される場合があります。

■Bluetooth機能

●Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

●カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

◆エラーメッセージ

●空き容量低下
端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
不要なデータを削除してから、再度ご利用ください。

端末の空き容量が低下している場合に表示されます。アルバムやデータから不要なデータを削除することで、端末の空き容量を増やすことができます。

●しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）

音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●PINロック解除コードがロックされました

ドコモnanoUIMカードがPUKロックされた状態でPINロック解除コードを入力すると表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P102

●SIMカードが挿入されていません

ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P39

●SIMカードはロックされています。

PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P106

●SIM card 異常
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。

ドコモnanoUIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ※リアカバー F86、電池パック F32、卓上ホルダ F49は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P140）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・液晶／ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶／ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶／ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。

- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Bluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の受話口、スピーカー、ディスプレイ右下部に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-05Gのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、以下の3種類があります。
  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  即時更新：今すぐ更新を行います。
  予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。充電しながら行うことをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
  - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はダウンロードを開始できません］または［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中は書換え処理を開始できません］と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-05G固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、［ソフトウェア更新に失敗しました。］と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

◆ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 **待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］**

2 **［ソフトウェア更新設定の変更］**

3 **［自動で更新を行う］／［自動で更新を行わない］**

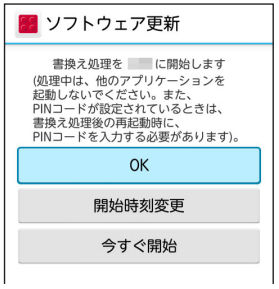
❖ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新あり）が表示されます。

- （ソフトウェア更新あり）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新あり）は消えます。

1 **アプリ通知一覧を開く→通知を選択**

書き換え予告画面が表示されます。



書き換え予告画面

2 **目的の操作を行う**

確認終了：［OK］
待受画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

時刻の変更：［開始時刻変更］
予約更新→P151「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：［今すぐ開始］
即時更新→P151「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新あり）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない］に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ソフトウェアの即時更新

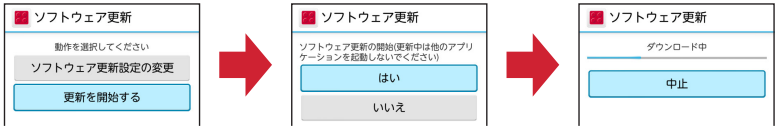
すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには設定メニューから起動する方法と書き換え予告画面から起動する方法があります。

〈例〉設定メニューからソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で MENU →［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］→［更新を開始する］→［はい］

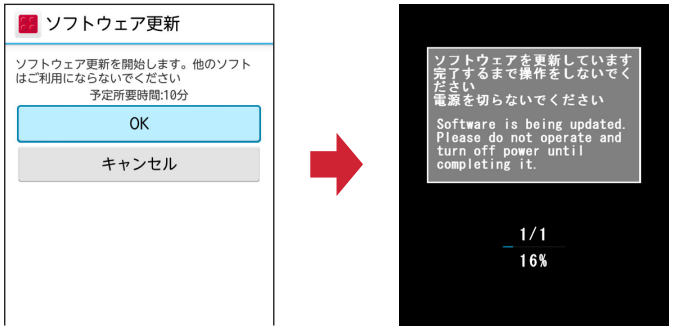
- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。



書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

2 ［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始

- ［OK］を選択すると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、待受画面が表示されます。



❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。アプリ通知一覧を開く→通知を選択すると、更新完了画面が表示されます。

◆ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書き換え予告画面を表示→［開始時刻変更］

2 時刻を設定→［設定］

❖予約の時刻になると

開始時刻になると［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✔お知らせ

- 更新中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-05Gの電源が切れている場合は、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに（ソフトウェア更新中断 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が表示された場合は、以下の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合

主な仕様

■本体

品名		F-05G
サイズ		高さ約113mm×幅約51mm×厚さ約15.8mm
質量		約129g（電池パック装着時）
内蔵メモリ		ROM：4GB RAM：512MB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約930時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	約520分
ワンセグ連続視聴時間※4		約470分
充電時間※5		ACアダプタ 05：（単独）約140分、（卓上ホルダF49使用時）約150分 DCアダプタ 04：約140分

ディスプレイ	種類	ディスプレイ：TFT 背面ディスプレイ：有機EL
	サイズ	ディスプレイ：約3.4inch 背面ディスプレイ：約0.8inch
	発色数	ディスプレイ：16777216色 背面ディスプレイ：1色
	解像度	ディスプレイ：横480ピクセル×縦854ピクセル（FWVGA） 背面ディスプレイ：横96ピクセル×縦39ピクセル
撮像素子	種類	裏面照射型CMOS
	サイズ	1/4.0inch
カメラ有効画素数		約810万画素
カメラ記録画素数（最大時）		約810万画素
デジタルズーム	静止画	最大約4.0倍（32段階）
	動画	最大約4.0倍（32段階）
静止画記録サイズ		8メガ最高画素 3264×2448 フルHD 1920×1080 画面ぴったり 854×480 ケータイメール 640×480
動画記録サイズ		HD 1280×720 ケータイメール 640×480 QVGA 320×240
Bluetooth機能	バージョン	4.0※6
	出力	power class 1
	対応プロファイル※7	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HOGP
表示言語		日本語／英語
入力言語（文字入力）		日本語／英語

※1連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※3連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※4ワンセグ連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。

※5充電時間とは、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電し、約10分後に電源を入れて充電したときの目安です。高温、低温時に充電すると、充電時間は長くなります。
※6本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※7Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	1700mAh

■卓上ホルダ

入力	DC5.0V　1.5A
出力	DC5.0V　1.5A

❖本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

❖静止画の保存枚数（目安）

撮影画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
8メガ最高画素 3264×2448	約700枚	約430枚

❖動画の録画時間（目安）

撮影画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
HD 1280×720	約24分	約14分

※ 1件あたりの最大録画時間は約24分（外部メモリ：約29分）です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-05Gの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.563W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.583W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みません。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-05G mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves*1 and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use at the ear is 0.563 W/kg and when worn on the body is 0.583 W/kg*2. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your ear. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."
Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.
Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)
NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/
FUJITSU LIMITED Website:
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/ (in Japanese only)

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
*2 Not including other radio systems that can be simultaneously used with FOMA.

◆Declaration of Conformity

The product "F-05G" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.447 W/kg for HEAD and 0.583 W/kg for BODY. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions,

they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ①this device may not cause harmful interference, and
  ②this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and

establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.95 W/kg, and when worn on the body, is 0.65 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F05G).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

※In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio

equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「デコメ®」「デコメ絵文字®」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ｉチャネル」「公共モード」「エリアメール」「spモード」「dメニュー」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」および「ｉチャネル」ロゴ「エリアメール」ロゴ「電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Androidおよびその他のマークはGoogle Inc.の商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- aptXはCSR社の登録商標です。

- LINEはLINE株式会社の商標または登録商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.com をご参照ください。

◆オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社SIMカードを取り付ける

2 SIMロック解除コードを入力

3 ［ロック解除］

✔お知らせ

- SIMロックの解除状態については、待受画面でMENU→［設定］→［端末管理］→［端末情報］→［端末の状態］を選択すると、［SIMロック状態］でご確認いただけます。

索引

ア行

アイコン
ステータスアイコン……35
ステータスバー……35
通知アイコン……35
アクセスポイント……98
確認……98
初期化……99
追加……99
アフターサービス……146
アプリケーション……112
キャッシュを消去……112
データを消去……112
無効化……112
アプリ通知一覧……36
あわせるビュー……96
位置情報……112
ウィジェット……111
英語ガイダンス……60
英語表示……107
エラーメッセージ……145
エリアメール……129
削除……129
受信……129
受信画面および着信音確認……130
受信設定……130
設定……129
着信音……130
表示……129
遠隔操作設定……60, 136
オープンアシストボタン……31
オープンソースソフトウェア……164
お気に入り機能ボタン……108
お知らせタイマー……91
お知らせLED……31, 38
音・バイブ・LED……94
音量……95

カ行

海外設定……135
ネットワークサービス（海外）……136
海外利用……131
確認事項……131
帰国後の確認……137
設定……132
滞在先で電話を受ける……134
滞在先で電話をかける……134
通信サービス……131
ガイド表示領域……36
外部機器接続……121
パソコンとの接続……121
外部ストレージ……114
外部接続端子……31
仮想プライベートネットワーク……111
壁紙・画面……96
カメラ……31
撮影時の注意事項……76
静止画撮影……78
静止画のオート撮影機能……78
静止画の撮影設定……79
動画撮影……80
動画のオート撮影機能……80

動画の撮影設定 81
画面消灯時間 97
画面の明るさ 97
画面保存 38
画面ロック
解除方法の設定 104
かける 104
かんたんお引越し 51
キーボード
外付けキーボード 49
機内モード 99
キャッチホン 60
緊急速報「エリアメール」 129
クイックメール 66
クイックメール設定 67
クローズロック 102
言語・文字・入力 107
公共モード（電源OFF）設定 60
高度な設定 110
国際電話（WORLD CALL） 55
国際ローミング（WORLD WING） 131
ネットワークサービス 136
発着信設定 135

サ行

再開可能なアプリを表示しない 106
災害用音声お届けサービス 128
災害用伝言板 128
材質 16
時刻 109
自動キーロック 102
充電 41
充電用アダプタ 42
卓上ホルダ 42
注意事項 41
パソコン 44
ACアダプタ 43
充電開始音 94
充電端子 31
受話口 31
仕様 152
商標 162
証明書のインストール 105
ショートカット操作 34
初期化 110
初期設定 49
新着情報アイコン 37
信頼できる認証情報 104
スクリーンショット 38
スクリーンセーバー 111
スケジュール 88
削除 89
登録 89
ステータスアイコン 35
ステータスバー 35
ストラップホール 31
ストレージのタイプ 104
スピーカー 31
静止画撮影画面 78
静止画のオート撮影機能 78
オートフォーカス 78
シーン別撮影 79
自動露出調整 79
ちらつき調整 79
ホワイトバランス 79
静止画の撮影設定 79
撮影画像サイズ 79
撮影モード 79

赤外線通信.....123
受信.....124
全件送信.....124
マイプロフィールを送信.....123
1件送信.....123
赤外線ポート.....31
セキュリティ.....100
セキュリティ解除方法.....104
暗証番号.....104
パスワード.....104
設定メニュー.....94
送話口.....31
ソフトウェア更新.....148
自動更新.....150
即時更新.....151
予約更新.....151

タ行

ダイヤル操作音.....94
タスク管理.....52
端末管理.....109
端末情報.....113
端末の状態.....113
法的情報.....113
知的財産権.....162
着信音.....94
着信通知.....60
着信バイブ.....94
通信事業者.....133
通信・機内モード.....98
通知アイコン.....35
通知音.....94
通知LED.....95
通話中着信設定.....60
提供元不明のアプリ.....106
ディスプレイ.....31
データ使用.....98
データ通信を有効にする.....98
データの初期化.....110
データローミング.....132
テキスト編集.....48
テキスト読み上げの出力.....113
デバイス管理機能の選択.....100
電源を入れる.....44
電源を切る.....44
伝言メモ.....59
設定.....59
リスト.....59
ON／OFF.....59
転送でんわサービス.....60
電卓.....91
電池.....97
充電.....41
寿命.....42
電話.....53
受ける.....56
かける.....53
緊急通報.....54
通話設定.....60
発信者番号通知.....53, 60
プッシュ信号.....53
プレフィックス選択.....53
電話帳.....62
グループの利用.....63
削除.....63
登録.....62
編集.....63
動画撮影画面.....78

動画のオート撮影機能.....80
オートフォーカス.....80
ちらつき調整.....80
ホワイトバランス.....80
動画の撮影設定.....81
撮影画像サイズ.....81
撮影モード.....81
保存先.....81
ドコモサービス.....108
遠隔初期化.....108
端末エラー情報送信.....108
ドコモアプリパスワード.....108
ドコモ位置情報.....108
USBデバッグ切替.....108
ドコモメール.....65
ドコモnanoUIMカード.....39
暗証番号.....40, 101
取り付け.....39
取り外し.....40
トラブルシューティング.....140

ナ行

内部ストレージ.....114
認証情報.....104
認証ストレージの消去.....105
ネットワーク暗証番号.....101
ネットワークモード.....133

ハ行

背面ディスプレイ.....31, 37
パケット接続の停止.....98
パスワード表示.....100
パソコンとの接続.....121
カメラ（PTP）.....122
メディアデバイス（MTP）.....122
USBでパソコンに接続.....122
発信者番号通知.....53, 60
番号通知お願いサービス.....60
日付.....109
日付と時刻.....109
時刻設定.....109
タイムゾーンの選択.....109
タイムゾーンを自動設定.....109
日付形式の選択.....109
日付設定.....109
日付と時刻の自動設定.....109
24時間表示.....109
ファイル操作.....116
フォーカスモード.....37
フォントサイズ.....107
ブックマーク.....73
削除.....73
登録.....73
編集.....73
ブラウザ.....69
キー操作.....70
ケータイモード.....70
サイト閲覧履歴.....74
設定.....74
ドラッグ操作.....71
ブックマーク.....73
ポインタ操作.....70
マウスモード.....70
プロフィール.....38
便利機能.....108
ポインタ.....34
防水／防塵性能.....23

保証 146
本体メモリ 114

マ行

マイク 31
待受画面
　カスタマイズ 96
マナーモード 95
　アラームONマナー 96
　サイレントマナー 96
　通常マナー 96
水抜き 28
無操作ロック 103
迷惑電話ストップサービス 60
メール 65
　クイックメール 66
目覚まし 89
メニュー 33
　一覧 138
メモ 90
文字入力 45
　絵文字／記号／顔文字入力 46
　設定 47
　単語登録 47
　定型文登録 47
　定型文入力 46
　データ引用 46
　テキスト編集 48

ヤ行

ユーザー補助 113
　テキスト読み上げの出力 113
輸出管理規制 161

ラ行

リアカバー 31
リセット 110
リダイヤル／着信履歴 58
留守番電話サービス 60
ロック画面
　壁紙 97

ワ行

ワンセグ 83
　起動 84
　ご利用にあたって 83
　終了 84
　設定 85
　チャンネル設定 86
　テレビリンク 86
　放送波 83
ワンセグアンテナ 31
ワンセグ視聴画面 84

英数字・記号

APN 98
Bluetoothアンテナ部 31
Bluetooth通信 124
　機能ON／OFF 125
　接続 125
　接続解除 127
　データ送受信 126
　名前を変更 127
　ペア設定 126
　ペアリング解除 127
dメニュー 69

FAQ 140
FOMAアンテナ部 31
LINE 87
microSDカード 114
データ消去 110
パソコンから操作 121
フォーマット 110
microSDパスワード 102
PINコード 101
設定 106
入力 107
変更 107
PINロック解除コード（PUK） 102
PINロックの解除 107
QRコードリーダー 81
読み取り 81
SAR 155, 156
SDカード パスワード設定 105
パスワード強制削除 106
パスワード削除 106
パスワード登録 105
パスワード認証 105
パスワード変更 105
SDカードと保存領域 109
合計容量 109
SDカードのマウント解除 109
SDカードをマウント 109
SDカードバックアップ 92
SIMカードロック設定 106
SIMロック解除 164
SMS 67
削除 68
作成 67
受信 68
設定 69
送信 67
表示 68
返信 68
VPN 111
接続 111
切断 112
追加 111
WORLD CALL 55
WORLD WING 131

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P60
電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P94
電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P95
着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P60

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでの各種お手続き・ご契約内容の確認など

本端末から　「MENU」キー→「Web」→「dメニュー・検索」→「お客様サポート」→「ドコモオンライン手続き」

パソコンから　My docomo（https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/）→「住所や契約内容の変更手続きがしたい」

●システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。

●「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「docomo ID／パスワード」が必要です。

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-05Gからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号　**-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

'15.6（1.1 版）
CA92002-9086